

1. 連携有望候補地域の選定
  - 1) 連携候補地域の抽出とスクリーニングの方法
  - 2) 連携検討候補13地域の抽出
  - 3) 連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定
  
2. 連携有望候補地域4地域のヒアリング調査
  - 1) 連携有望候補地域4地域の連携分野関連調査
  - 2) 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査に基づく評価
  
3. 連携有望候補地域の結論

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

# ヒアリング実施概要： 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査の流れ

## 山梨県の紹介・連携候補地域の選定



## ヒアリング

- 地域共通ヒアリング項目
- 地域個別ヒアリング項目

## 今後について

- 当該地域における更なるヒアリング  
(必要に応じて)
- 2021年10月：  
山梨県におけるロシア地域連携検討方針に関する決定
- 2021年11月：  
地域連携に関する正式な相互協議に関するロシア地域への依頼
- 2021年12月以降：  
地域連携に関する相互協議

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング実施概要： ヒアリング先

#### 連携対象有力候補地域関連のヒアリング（コンタクト）先と実施結果

| 地域         | 組織・タイトル                         | 氏名                | 実施結果      |
|------------|---------------------------------|-------------------|-----------|
| クラスノダール地方  | 副知事                             | Ruppel Alexander  | レターでの回答   |
|            | 戦略的開発・投資・外国経済活動省                | Alexey Sheyan     |           |
| タタールスタン共和国 | 大統領外務省長                         | Habibullin Edward | タメルラン氏に委任 |
|            | 在日通商代表                          | アブジケエフ・タメルラン      | ヒアリング実施   |
| ロストフ州      | 経済開発担当副大臣 国際協力・海外の経済活動、観光産業発展担当 | エレナ・フェドトワ         | ヒアリング実施   |
|            | 国際協力担当部長                        | パベル・ヴォイトフ         |           |
|            | 国際協力担当チーフスペシャリスト                | マリア・シュチエルバコワ      |           |
|            | ロシア連邦外務省二等書記官                   | エカトリーナ・イワノバ       |           |
| ヴォロネジ州     | 地域経済開発部長                        | D.A. Kustov       | レターでの回答   |
|            | ヴォロネジ州投資・戦略プロジェクト庁長官            | Dorofeev Vladimir |           |
| 在日ロシア通商代表部 | 通商代表                            | ピョートル・パブレンコ       | ヒアリング実施   |

#### ロシア関連日本団体のヒアリング（コンタクト）先と実施結果案

| 団体・組織               | 氏名              | 実施結果    |
|---------------------|-----------------|---------|
| Japan Business Club | 事務局長 岡田 邦生      | ヒアリング実施 |
| ロシアNIS貿易（ROTOBO）    | モスクワ事務所代表 齋藤 大輔 | ヒアリング実施 |
| 日本センター（モスクワ）        | 本部長 浜野 道博       | ヒアリング実施 |

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング実施概要： ヒアリング内容（共通項目）

- 各地域において連携可能性に関する総体的なヒアリングを共通項目に基づいて行う。

#### 共通ヒアリング項目

| 質問項目                              | ヒアリングでの評価ポイント          |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 山梨県の紹介、日本・山梨県との現在の関係・接点        | 関係・接点の有無と既存の関係性に関する理解  |
| 2. 当該地域の分野別（産業、観光、文化、大学・学術等）の特徴   | 山梨県との分野別連携可能性の有無       |
| 3. 諸外国との地域連携関係・活動と成果              | 国際的な地域連携に関する取り組みの具体性   |
| 4. 諸外国の地域との国際交流・連携に対する考え方・政策      | 国際的な地域連携への取り組み姿勢・実現性   |
| 5. 日本・山梨県との地域連携関係に対する関心の有無とその理由   | 山梨県への関心の有無と強さ          |
| 6. 山梨県との連携可能性・連携が期待可能な分野・テーマとその理由 | 山梨県との地域連携に関する具体性       |
| 7. 山梨県との連携で期待される効果・成果             | 地域連携に対する期待の強さ、期待成果の具体性 |

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング実施概要： ヒアリング内容（連携分野別項目）

- 共通ヒアリング項目を踏まえながら、各地域の特性を踏まえた産業毎の連携可能性や連携テーマ案に関して、現状や課題などを含め、より詳しいヒアリングを行う。

#### 分野別ヒアリング項目

| 連携分野                                    | ヒアリング内容案   |
|---|--|
| 1. 観光分野：相互観光交流                          | <ul style="list-style-type: none"><li>地域としての観光振興施策</li><li>当該分野における諸外国との観光連携例（*1）</li><li>当該分野における連携可能性・連携テーマ案とその背景（*2）</li></ul>                              |
| 2. 文化・大学間交流                             | <ul style="list-style-type: none"><li>大学・研究機関の特徴・強み</li><li>当該分野における諸外国との連携状況（*1）</li><li>当該分野における連携可能性・連携テーマ案とその背景（*2）</li></ul>                              |
| 3. 農業関連分野：果物（もも、ぶどう）、ワインの生産・貿易に関する交流・連携 | <ul style="list-style-type: none"><li>農業振興に関する施策</li><li>当該分野における諸外国との連携状況（*1）</li><li>当該分野における連携可能性・連携テーマ案とその背景（*2）</li></ul>                                 |
| 4. 産業・科学分野：IT技術、ロボット開発、代替エネルギーでの技術交流・連携 | <ul style="list-style-type: none"><li>当該分野における産業振興に関する施策</li><li>分野別の技術的特徴・強みと課題</li><li>当該分野における諸外国との連携状況（*1）</li><li>当該分野における連携可能性・連携テーマ案とその背景（*2）</li></ul> |
| 5. インフラ開発：高速鉄道整備、社会インフラ整備等に関する情報交換等の交流  | <ul style="list-style-type: none"><li>インフラ開発に関する重点施策</li><li>インフラ開発・整備に係る課題</li><li>当該分野における諸外国との連携状況（*1）</li><li>当該分野における連携可能性・連携テーマ案とその背景（*2）</li></ul>      |

(\*1) 共通ヒアリング項目3.に関連するヒアリング内容

(\*2) 共通ヒアリング項目6.に関連するヒアリング内容

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング実施概要： ヒアリング内容（地域個別ヒアリング要点）

- 連携分野別項目に基づくヒアリングでは、各地域の産業特性を踏まえて実施する。

#### 地域別ヒアリング要点とする産業分野（中間報告：連携対象有力候補の連携が期待される産業分野）

| クラスノダル地方  | タートルスタン共和国  | ロストフ州   | ヴォロネジ州  |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>観光：インフラ開発、Inbound/Outbound</li><li>農業：ぶどうとワイン</li><li>IT技術</li><li>代替エネルギーの開発・発展（特に太陽光発電所）</li><li>物流</li><li>文化交流、大学間の交流</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>観光：インフラ開発、Inbound/Outbound</li><li>IT技術</li><li>ロボット技術（機械技術）</li><li>医療分野</li><li>文化交流、大学間の交流</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>観光：インフラ開発、Inbound/Outbound</li><li>農業：ぶどうとワイン</li><li>ロボット技術、農業機械</li><li>代替エネルギーの開発・発展</li><li>文化交流、大学間の交流</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>観光：インフラ開発、Inbound/Outbound</li><li>農業：果実とワイン</li><li>日露都市環境分野のモデル都市としての協力関係（インフラ開発）</li><li>文化交流、大学間の交流</li></ul> |

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### 候補地域へのヒアリング評価結果

- クラスノダールは山口県との連携関係があることから、山梨県との連携関係については辞退。
- ヒアリング結果に基づく、各州の評価においてクラスノダール州を除く3地域では大差がない。
  - 本ヒアリングは当該地方政府方針を代表するものでない。

### ヒアリング評価結果

| 評価項目                           | 地域       |            |       |        | 評価点数        |                     |              |
|--------------------------------|----------|------------|-------|--------|-------------|---------------------|--------------|
|                                | クラスノダール州 | タタールスタン共和国 | ロストフ州 | ヴォロネジ州 | 1           | 2                   | 3            |
| 1.日本・山梨県との現在の関係・接点             | －        | 2          | 2     | 3      | なし          | 日本または山梨県との関係がある     | 日本・山梨県との関係あり |
| 2.諸外国との地域連携関係に関する実績            | －        | 3          | 3     | 3      | なし          | －                   | 成果あり         |
| 3.諸外国の地域との国際交流・連携に対する積極性       | －        | 3          | 3     | 3      | 消極的         | 積極的でも消極的でもない（場合による） | 積極的          |
| 4.山梨県との地域連携に対する関心、効果・成果への期待の有無 | －        | 2          | 3     | 2      | なし          | 肯定的でも否定的でもない        | あり           |
| 5.山梨県との地域連携に対する関心、効果・成果期待の具体性  | －        | 3          | 2     | 2      | 相対的に具体性に乏しい | どちらともいえない           | 相対的に具体的      |
| 6.山梨県との連携可能性・連携が期待可能な分野・テーマ    | －        | 8          | 8     | 7      |             |                     |              |
| (1) 観光                         | －        | 1          | 1     | 1      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (2) 農業                         | －        | 1          | 1     | 1      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (3) 工業・機械産業                    | －        | 1          | 1     | 1      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (4) ロボット技術                     | －        | 1          | 1     | 1      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (5) IT技術                       | －        | 1          | 1     | 0      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (6) 代替エネルギー                    | －        | 1          | 1     | 1      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (7) 医療分野                       | －        | 1          | 0     | 0      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (8) 文化・学術                      | －        | 1          | 1     | 1      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| (9) その他                        | －        | 0          | 1     | 1      | なし (0)      | －                   | あり (1)       |
| 7.山梨県との連携で期待される効果・成果           | －        | 2          | 2     | 2      | 乏しい         | 限定的                 | 大きい          |
| 8.日本の他自治体との関係について              | －        | 2          | 2     | 3      | 既に強い関係がある   | 検討中の自治体あり           | なし           |
| 9.「ロシア関連日本団体のヒアリング」における推奨度     | －        | 2          | 2     | 3      | 弱い          | あり                  | 強い           |
| 合計                             | －        | 27         | 27    | 28     |             |                     |              |

連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

候補地域へのヒアリング評価結果： 地域別の評価根拠（#1/2）

| 評価項目                           | 地域       |            |       |        | タートルスタン共和国  | ロストフ州   | ヴォロネジ州   |
|--------------------------------|----------|------------|-------|--------|---|---|--|
|                                | クラスノダール州 | タートルスタン共和国 | ロストフ州 | ヴォロネジ州 |   |   |  |
| 1.日本・山梨県との現在の関係・接点             | -        | 2          | 2     | 3      | 日本とは文化面、産業面において、多様な日関係がある。  | 主に機械分野にける対日貿易があり、貿易拡大に関心。産業面での関係がある。  | 山梨県との関係があり、日露経済協力との関連で日本との関係も深い。                                       |
| 2.諸外国との地域連携関係に関する実績            | -        | 3          | 3     | 3      | 国際イベントを通じた地域連携、外国企業誘致に伴う、当該外国との連携が認められる。                            | 大学交流など学術分野で多くの海外機関と協力関係。優遇策を通じ外国企業誘致にも積極的。  | チェコ、ドイツ、米国、中国、ブルガリア、スペイン、モルドバ、ハンガリーとの連携関係あり。(ヴォロネジ州からの回答には含まれてない)      |
| 3.諸外国の地域との国際交流・連携に対する積極性       | -        | 3          | 3     | 3      | 優遇策を通じて、外国企業誘致も積極的。国際イベント誘致を通じた地域の国際化。                              | 国際・地域間協力の発展に大きな関心。外国との二国間関係構築は地域発展のための重要な焦点。  | 日露地域知事会談への参加等積極的に海外との関係づくりに貢献。   |
| 4.山梨県との地域連携に対する関心、効果・成果への期待の有無 | -        | 2          | 3     | 2      | 特定分野での具体的な連携関係づくりに強い関心。特にIT、ロボット、イノベーション分野での連携に期待。                  | 農業、機械、観光など幅広い領域において最も関心。  | 日露経済協力の枠内で成果が出ていることもあり、地域連携により幅広い連携効果に対する期待がある。                        |
| 5.山梨県との地域連携に対する関心、効果・成果期待の具体性  | -        | 3          | 2     | 2      | ITおよび、ロボット分野、学術分野での連携に具体性がある。                                       | テーマは特定できないが、農業、貿易、観光、IT、学術分野などでの連携への期待が大きい。   | 観光、燃料電池、機械・エレクトロニクス、人材育成の分野での期待が考えられる。                                 |
| 6.山梨県との連携可能性・連携が期待可能な分野・テーマ    | -        | 8          | 8     | 7      |   |   |  |
| (1) 観光                         | -        | 1          | 1     | 1      | 観光分野連携・観光開発に関心。   | ロストフ州は既に日本との観光開発を検討しており、ガストロノミーリズム（地元の食や背景にある文化を体験するリズム）に注目。                              | ヴォロネジ州は日本との観光に関わる文化交流を進めている。   |
| (2) 農業                         | -        | 1          | 1     | 1      | ぶどう、ももの生産はなく、富裕層を対象とした県産果物の需要地としての期待と、農業技術に関する協力ポテンシャルに期待。現地農産品は穀物。 | ぶどう、ももの生産はなく、富裕層を対象とした県産果物の需要地としての期待。ブドウ生産の発展など、農業技術並びに、加工技術、ワインに関する協力に関心がある。現地農産品は穀物・豆類。 | ぶどう、ももの生産はなく、富裕層を対象とした県産果物の需要地としての期待と、農業技術に関する協力ポテンシャルに期待。現地農産品は穀物・豆類。 |
| (3) 工業・機械産業                    | -        | 1          | 1     | 1      | 工業・機械に強い。日本との協力実績が豊富。   | 工業・機械に強い。特に機械分野での技術協力に関心。   | 工業・機械に強い。日本との協力実績がある。地元企業に電子機器における協力関係への期待。州政府はエレクトロニクス、化学工業などの協力に期待。  |
| (4) ロボット技術                     | -        | 1          | 1     | 1      | ロボット開発企業が存在し、同分野での連携に関心がある。   | 具体的には乏しいものの、山梨県と協力意向あり。   | 具体的な協力・連携の期待は確認できなかったが、地域の製造業（飛行機生産、設備・機械生産）の関連でロボット分野にでの潜在的な連携可能性がある。 |



## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### 候補地域へのヒアリング評価結果： 地域別の評価根拠（#1/2）

| 評価項目                        | 地域       |            |       |        | タタールスタン共和国   | ロストフ州   | ヴォロネジ州  |
|-----------------------------|----------|------------|-------|--------|--|---|---|
|                             | クラスノダール州 | タタールスタン共和国 | ロストフ州 | ヴォロネジ州 |  |   |   |
| 6.山梨県との連携可能性・連携が期待可能な分野・テーマ | －        | 8          | 8     | 7      |  |   |   |
| (5) IT技術                    | －        | 1          | 1     | 0      | 連邦レベルでのITイノベーションのためのイノボリス経済特区が存在。IT分野（システム開発、人材交流等）での連携にも関心。 | ロストフ市、タガンログ市はロシアIT首都（IT産業が発展している都市）と位置付けられている。IT分野での協力関係に関心。        | ヴォロネジ州からはITに関する情報・期待感が確認できない。   |
| (6) 代替エネルギー                 | －        | 1          | 1     | 1      | 風力発電に関する協力可能性がある。  | ロシアにおける風力発電のリーダ地域の一つ。水素、太陽光、風力の代替エネルギー分野の開発に関心。                     | 原子力を中心であるが、燃料電池開発での協力に関心。   |
| (7) 医療分野                    | －        | 1          | 0     | 0      | 連携可能性にある関連企業が存在（EidosMedicine社：カザン大学スピンアウト：ロボット技術・医療シミュレータ）  | ロストフに関連企業があるがインタビューでは期待分野として見なされていない。                               | 医療に関する情報はない。  |
| (8) 文化・学術                   | －        | 1          | 1     | 1      | 留学、学術分野での共同研究に関心。  | 日本と大学間で海外地域研究の協力プログラムがあり、学術交流を進めている。                                | 大学間の交流に資する機関があり、交流・連携分野となりうる。   |
| (9) その他                     | －        | 0          | 1     | 1      | 特になし。  | 日本との機械、付加価値製品における貿易拡大の期待。   | ヴォロネジは日露関係開発での大事なポジションを保有し続けたい。   |
| 7.山梨県との連携で期待される効果・成果        | －        | 2          | 2     | 2      | 総合的というより、IT、機械・ロボットなどの特定分野での技術開発、技術協力により日露相互の発展が期待される。       | 現段階で具体的に特定が難しいが、幅広い分野での連携可能性が求められており、効果が期待可能なテーマを見出すことが可能であると考えられる。 | 農業、産業共に発展している地域であるため、潜在的な連携ニーズは存在し、様々なテーマを検討できる可能性がある。観光、燃料電池、機械・エレクトロニクス分野での連携・協力が期待がある。 |
| 8.日本の他自治体との関係について           | －        | 2          | 2     | 3      | 石川県とは正式文書はないものの、交流関係がある。                                     | ロストフはイゾフトフ東京総領事が熱心に沖縄との交流を検討。その後、進展してない。                            | ヴォロネジ州は特定の地域連携はない。  |
| 9.「ロシア関連日本団体のヒアリング」における推奨度  | －        | 2          | 2     | 3      | 経済的な面でタタールスタンが推奨されるが相互バランスが課題。                               | 相対的にロストフに対する印象は乏しい。   | ヴォロネジは日露経済協力の実績で推奨。   |

# 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査 候補地域へのヒアリング評価結果の総評

## ヒアリング結果総評

| 評価項目                           | コメント   |
|--------------------------------|--|
| 1.日本・山梨県との現在の関係・接点             | 山梨県との何らかの関係があるのはヴォロネジのみ。また日露経済協力との関連で日本との関係も深い。タタルスタンは多様な日本との関係があり、ロストフ州は日本との関係に乏しい。   |
| 2.諸外国との地域連携関係に関する実績            | 3 地域共に国際・地域間協力の活動・関心がある。   |
| 3.諸外国の地域との国際交流・連携に対する積極性（*）    | political and diplomatic centreとしてのロストフ州。ヴォロネジ州には明確な情報がないが、日露地域知事会談への参加等積極的に海外との関係づくりに貢献。  |
| 4.山梨県との地域連携に対する関心、効果・成果への期待の有無 | ロストフが幅広い領域において最も関心を示した。  |
| 5.山梨県との地域連携に対する関心、効果・成果期待の具体性  | タタルスタンは具体的領域での連携に高い関心。ロストフ州とは協力分野の提案などがあり今後の具体化への期待が高い。ヴォロネジ州は具体性に乏しいが、今後の議論次第であると考えられた。   |
| 6.山梨県との連携可能性・連携が期待可能な分野・テーマ    |  |
| (1) 観光                         | どの地域も観光分野連携・観光開発に関心。ロストフ州は既に検討中（日本との観光開発）でガストロノミーツーリズムに注目。ヴォロネジ州は日本との観光に関わる文化交流を進めている。   |
| (2) 農業                         | タタルスタンはヴォロネジにはぶどう、ももはなく協力ポテンシャルに期待。テーマとなり得るのは穀物・豆類（ヴォロネジ、タタルスタン）。県産果物の販売市場として3 地域のポテンシャルは限定的。  |
| (3) 工業・機械産業                    | 3 地域は工業・機械に強い。ヴォロネジとタタルスタンは日本との協力実績が豊富。ヴォロネジのVCCB Polusは電子機器産業における協力関係を期待し、州政府はマイクロエレクトロニクス、パワーエレクトロニクス、デジタル高集積エレクトロニクスソリューション、化学工業などでの協力を期待。  |
| (4) ロボット技術                     | タタルスタンはロボット開発を実施。ロストフ州は不明であるが山梨県と協力意向あり。ヴォロネジからは同分野に関する情報・期待感を確認できない。ヴォロネジ州では製造業（飛行機生産、設備・機械生産）があるため、ロボット分野には関心を示すはず。  |
| (5) IT技術                       | ロシアのIT技術首都としてのロストフ州にTaganrog市があり、タタルスタンはイノポリス経済特区が存在。両地域はIT分野での連携にも関心。ヴォロネジ州からはITに関連する情報・期待感を確認できない。   |
| (6) 代替エネルギー                    | タタルスタンは風力発電、ロストフ、ヴォロネジでは本テーマについて言及ない。ロストフには風力発電所が3カ所ある、ロシアにおける風力発電のリーダ地域の一つ。ヴォロネジは原子力力が中心。   |
| (7) 医療分野                       | タタルスタンのEidosMedicine社（ <a href="https://eidos-medicine.com/">https://eidos-medicine.com/</a> ）（カザン大学スピンアウト：医療シミュレータ）がロボット技術であると共に医療。ロストフに関連企業があるがインタビューでは期待分野として見なされていない。ヴォロネジ州の回答に医療に関連する情報は無い。 |
| (8) 文化・学術                      | 各地域とも大学間の交流に資する機関があり、交流・連携分野となりうる。   |
| (9) その他                        | ロストフによる貿易拡大の期待。ヴォロネジは日露関係開発での大事なポジションあり続けたい。   |
| 7.山梨県との連携で期待される効果・成果           | 分野ごとの協力は可能であるが、総体的な協力は不明。  |
| 8.日本の他自治体との関係について              | タタルスタンは石川県。ロストフはイゾートフ東京総領事が熱心に沖縄との交流を検討。ヴォロネジ州は特定の地域連携は具体的にはない。  |
| 9.「ロシア関連日本団体のヒアリング」における推奨度     | 経済的な面でタタルスタンは推奨されるが相互バランスが課題。ヴォロネジは日露経済協力の実績で推奨。相対的にロストフに対する印象は乏しい。  |

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

# ロシア関連日本団体のヒアリング内容と結果

■ ロシア関連日本団体へのヒアリングにより候補3地域との連携推奨度を捉えた。相対的にロストフへの印象は総じて乏しい。

### ヒアリング内容と結果

| 質問項目   | 推奨度と評価  |      |       |  |
|--|---------|------|-------|--|
|  | タタールスタン | ロストフ | ヴォロネジ | コメント   |
| 1. 山梨県の紹介、山梨県とロシアの地域との連携に対する期待                 | ○~△     | △    | ○     | タタールスタン：産業が発達しており連携・協力の申し入れは多い。<br>ロストフ：日本への期待は不明確<br>ヴォロネジ：様々なニーズが出る可能性 |
| 2. 日露地域連携に関する現状、事例（活動、成果・評価）                   | ○       | △    | ○     | タタールスタン：石川県、島根県と交流<br>ロストフ：沖縄県との交流検討<br>ヴォロネジ：日露経済協力                     |
| 3. ロシアと諸外国との地域連携の状況・状況                         | ○       | △    | ○     | ソ連時代の友好関係の継承が多く、特に欧州との交流・経済的関係は活発であると思われる。経済面では中国が活発で、韓国は活発性に乏しい。        |
| 4. 候補4地域に対する見方（Positive, Negative）             | ○~△     | △    | ○     | タタールスタン：歴史的に親日的<br>ロストフ：山梨県との連携について好意的<br>ヴォロネジ：親日的、山梨県に近い印象             |
| 5. 候補4地域と山梨県との連携に関する見方・考え方、連携が期待可能な分野・テーマとその理由 | △~○     | ○    | ○     | タタールスタン：IT、大学、文化、工業分野<br>ロストフ：農業、ワイン、観光、大学<br>ヴォロネジ：農業、産業分野              |
| 6. 候補4地域と山梨県との連携への期待効果・成果                      | ○       | ○    | ○     | タタールスタン：ITパーク連携、スタートアップ企業連携<br>ロストフ：農業、ワイン、文化、（繊維）<br>ヴォロネジ：農業、産業分野      |
| 7. 地域連携における留意点                                 | -       | -    | -     | タタールスタン：山梨県との経済規模の相違<br>ロストフ：日本との地域連携への関心は要確認<br>ヴォロネジ：産業分野での連携テーマの具体化   |
| 推奨度評価  | ○~△     | △    | ○     | タタールスタン：ロシアの優秀地域、親日としての推奨<br>ロストフ：農業、ワインでの連携期待<br>ヴォロネジ：日露経済協力での実績、農業分野  |

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング結果（レターに対する回答）

#### 1) クラスノダール

- クラスノダール州は、山口県との連携関係があることから、山梨県との連携については辞退。

##### クラスノダール州からのレター

In accordance with the letter on the possibility of establishing cooperation between the Krasnodar Territory and the Japanese Yamanashi Prefecture, I inform you that in view of the existence of an existing agreement (concluded in 2017) between our region and Yamaguchi Prefecture, we consider it inappropriate to establish interaction with Yamanashi Prefecture.

Interregional cooperation with the Yamaguchi Prefectural Office developed actively before the pandemic. Many events have been held throughout the region. Due to the well-known events in 2020-2021 number of events were canceled, online meetings were held to agree on a schedule for previously planned events. Thus, the potential for the development of interregional cooperation is great and we plan to expand our cooperation in the future.

クラスノダール地方と山梨県との協力の可能性に関する書簡に関して、当地域と山口県との間の既存の協定（2017年に締結）の存在を考慮すると、適切ではないと考えていることをお伝えいたします。

山口県との地域間協力は、パンデミック以前より活発に発展しました。地域全体で多くのイベントが開催されています。2020年から2021年は、多くのイベントがキャンセルされ、計画されてきたイベントのスケジュールについて合意するためにオンライン会議を行ったところ。このように、地域間協力の発展の可能性は大きく、今後も協力を拡大していく予定です。

Tigran Manasaryan

Department for investment, small and medium enterprise development of Krasnodar region

クラスノダール地方の中小企業開発投資部門

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

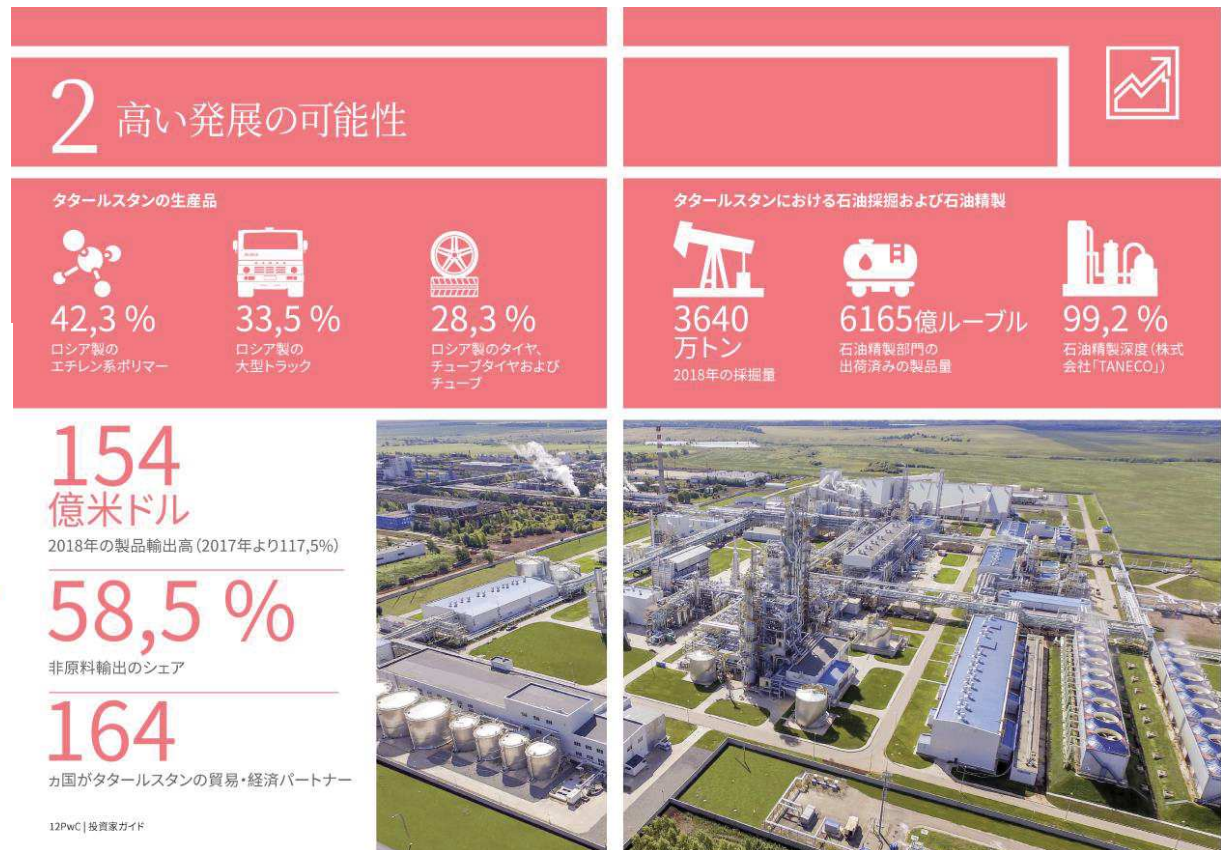
### ヒアリング結果

## 2) タタールスタン共和国： 地域のポテンシャル

- 機械、化学、エネルギー分野での発展してきた。
- 戦略的な優先課題は、知識、イノベティブ活動及びハイテク分野の発展に基づく、新経済の形成。

タタールスタン・2017年・2020年・2030年・地方のクラスター的な活性化

- 主なクラスター
  - スマート経済のイノベティブなクラスター
  - 近代的な経済のクラスター
- 略号:  
**NGHK**—石油ガスコンプレックス  
**MK**—機械工作などの加工産業コンプレックス



出所) タタールスタン共和国紹介資料

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング結果

## 2) タタールスタン共和国： 国際的活動

- ロシアにおいて最も外国企業の誘致に積極的な地域の一つであり、充実した投資環境の整備により多数の外国企業を誘致し、産業が多様化している。
- 多くの国際イベントの誘致にも積極的で、これを通じたインフラ整備と国際的な人的交流を作っている。

### 3 充実した投資環境

税制優遇を取得する3つの方法: 経済特区の入居企業となる方法、先行社会経済発展区の入居企業となる方法および、優先的プロジェクトとして投資メモランダム<sup>\*)</sup>に記載される方法です。

**投資マップ**  
タタールスタンは、連邦税制優遇を提供する7つの区域が集中しているロシアで唯一の地域です。共和国で、経済特区が2つ設立され、先行社会経済発展区が5つ決まっています。全7区域で税制優遇が提供され、完備されたインフラが用意されています。

85  
タタールスタンにおける公園など  
16PwC | 投資家ガイド

### 5 投資家に対する積極的な政府のサポート

タタールスタン共和国投資開発局

www.tida.tatarstan.ru

既に8年間、タタールスタン共和国投資開発局は下記課題の解決を促進しています。

- 投資誘致
- 「一つの窓口」体制を基に投資プロジェクトの支援及び実施
- 投資の好環境の形成
- タタールスタン共和国の投資対象としての魅力の向上
- 指定管理者制度の発展

投資家 → TIDA →

32PwC | 投資家ガイド

### タタールスタンは国際イベントの中心地

**第27回世界夏ユニバーシアード**  
2013年7月に、カザンが大27回夏ユニバーシアードを開催した。上記ユニバーシアードは史上最大のイベントとなりました。大会に162か国からのスポーツ選手が7980人、公式代表者が798人参加しました。既に、観光客が15万人イベントに参加しました。

約 150000人  
観光客

**Red Bull Air Race 2019**  
2019年に、カザンでRed Bull Air Raceの第2戦を開催します。カザンは、3回目に上記のエアレースの開催地となります。試合は、カザンカ川のよ、プレムリンが見える町の中心地で行われます。2018年に、レースにパイロットが20人参加し、観客が9万人以上集まりました。

90000人  
観客

**ロシアにおける2018年サッカーW杯**  
2018年サッカーW杯は第21回FIFAサッカーW杯となり、グループステージと決勝トーナメントは2018年6月14日-7月15日にロシアで開催されました。  
カザン市では、ラウンド16と準々決勝を含めて6つの試合が行われました。  
ここで「カザンアリーナスタジアム(収容人数4.5万人)が建設され、面積3700㎡あるそのメディアファードは世界最大規模です。

出所) タタールスタン共和国紹介資料

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. 86

## ヒアリング結果

### 2) タタールスタン共和国： 観光分野

- タタールスタンはロシアの中でもユニークな歴史と文化を持った地域であり、共和国の中心には、様々な観光資源が存在。
- 前述の国際イベント誘致と合わせて、観光開発にも積極的に取り組んでいる。

#### タタールスタンを訪問。観光メモ



##### カザン・クレムリン

###### 共和国の中心

正教のブラゴヴェシエンスキー大聖堂とイスラム教の優雅なクール=シャリフ・モスクが同じ広場で平和に共存しています。クレムリンでは、博物館や美術館、カザンのハン墳墓や、謎のシュウンピケ斜塔を見ることができます。



##### ヴェリキー・ボルガル

###### ヴォルガ川における古代文明

巡礼の場所、イスラム教の聖地です。金銀汗国の古代首都の一つ、シルクロードの一部、沿ヴォルガ川地域におけるイスラム教文化の出生地です。ここで世界最大の活版印刷コーランが保管されています。



##### スヴィヤジュスク島

###### プーシキンの詩に出てくる「ブヤン島」のモデル

現地の住民が語り継ぐ不思議な歴史や自然のあるおとぎの島島の聖堂には、イワン雷帝王が描かれた16世紀のユニークなフレスコが残っています。

50PwC | 投資家ガイド



#### タタールスタンを訪問

[visit-tatarstan.com](http://visit-tatarstan.com)

##### 国際フェスティバル:



フョードル・シャリヤピン記念オペラ国際フェスティバル



ルドルフ・ヌレエフ記念バレエ国際フェスティバル



国際イスラム教映画祭



国際ジャズフェスティバル

##### スポーツ用のレジャー施設



「Sviyazhskiy Holmy」国際クラブのゴルフクラブ



「Sviyazhskiy Holmy」国際レベルのスキー施設



「Kazan」国際馬術競技施設

10000

タタールスタンでスポーツ施設を運営



タタールスタン共和国51

出所) タタールスタン共和国紹介資料

## ヒアリング結果

### 2) タタールスタン共和国： 産業分野

- タタールスタンの産業は、自動車、航空機、船舶といった機械分野、エネルギー資源を背景とした化学分野など、多様である。
- イノベティブな技術の導入、前述の外国企業の誘致により、新たな産業分野の発展にも積極的に取り組んでいる。

### メイド・イン・タタールスタン

タタールスタンのブランドや製品は世界中でよく知られています。

[madeintatarstan.com/](http://madeintatarstan.com/)

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
|  <p>KAMAZのトラックは16回ダカールラリーで優勝しました。</p>      |  <p>公開株式会社「ツポレフ」のカザン支店は、90年の歴史がある航空機製造企業です。</p>  |  <p>公開株式会社「Nizhnekamskneftekhim」はヨーロッパ最大の石油化学企業の一つです。</p> |  <p>公開株式会社「Tatneft」はロシア最大の石油会社の一つです。</p>                      |
|  <p>A-145は旅客用の高速船です。ロシア製の類似物は他にありません。</p> |  <p>Ansats多目的ツインエンジン軽ヘリコプターは、取りはずせる設備のおかげで、短時間で再装備ができるようになって、幅広い課題をこなすことができます。貨物・乗客の運送、観察、捜索・救助、防火、医療・避難作業。</p> |  <p>株式会社「TANECO」は現代的なロシア石油精製企業です。</p>                    |  <p>株式会社「Nefis Cosmetic」は下記の化学製品を生産しています。家庭用化学製品及び技術用途製品</p> |

48PwC | 投資家ガイド タタールスタン共和国49

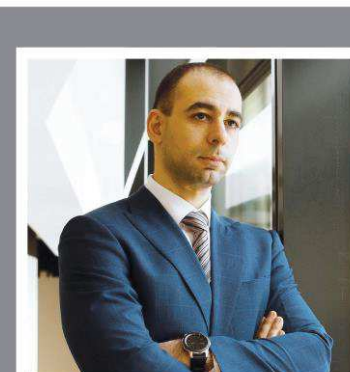
出所) タタールスタン共和国紹介資料



## ヒアリング結果

### 2) タタールスタン共和国： IT分野

- 歴史あるカザン大学をはじめとして学術的な面でも発展するタタールスタンでは、学術と産業をむずびつけた産業開発も進められている。
- とりわけ、連邦レベルで設立されたイノポリス経済特区では、IT技術にフォーカスし、人材育成とイノベーティブなロシアのIT産業の発展をけん引している。



#### 「イノポリス」 経済特区

「イノポリス」経済特区は、ロシアの情報通信技術センター設立という大規模なプロジェクトです。その主要課題はハイテク分野における投資プロジェクトを実施する際、ロシア及び国際企業をサポートすることとなります。

「イノポリス」経済特区の入居企業になれるのは、様々な分野のイノベティブ活動に取り組む企業で、それらの優先的な活動分野が情報通信技術でなければなりません。

経済特区の総面積は300ヘクタール以上で、ヴェルフネウスロンスキー地区にある施設(193ヘクタール)とライシェフスキー地区にある施設(119ヘクタール)を含みます。

#### 「イノポリス」経済特区のメリット

- ・ 特例的な税制
- ・ 現代的なビジネスインフラへのアクセス
- ・ 土地賃借及びエンジニアリングネットワークへの接続の特恵的条件
- ・ 高度技能人材へのアクセス
- ・ 入居企業のスタッフ及びその家族が暮らしやすいように、最高の社会的インフラや、教育及びスポーツ用インフラが整備され、専門家として成長するための可能性を提供するのに最適な環境が整っています。

20PwC | 投資家ガイド



[www.innopolis.com](http://www.innopolis.com)

「  
ここは他の町に比べて大きな違いがあります。IT専門家が快適に暮らせる環境、個人の目標を達成できる環境が設けられています。ジムへ行ったら、そこでJava又はアーキテクチャなどの話をしています。喫茶店に寄っても、まったく同じです。ここでは環境自体が専門的な成長を促進しています。」

アルトゥール・メロヤン、  
有限責任会社「RTK Soft Labs」の執行取締役

タタールスタン共和国21

出所) タタールスタン共和国紹介資料

## ヒアリング結果

### 2) タートルスタン共和国： 日本との協力関係（期待）

- 連携に対してポジティブである。
  - 特定分野で事業提携が出来ればよい。
  - 大統領は国際交流を活発に行っている。
    - ・ イスラム圏（インドネシア、マレーシア、中央）と民間事業、文化交流のアンバサダー的立場
  
- タートルスタンの主要産業：5分野＋ITデジタル＋農業
  - 5分野： 石油、石油化学、自動車、機械、航空（ツボレフ）
  - 農業： 穀物（麦）
  
- 連携テーマの仮説： 1, 2 分野に絞って具体案件での連携に期待
  - 農業： ペプチドなど技術開発協力や、日本技術を活用した加工・生産技術協力
  - 農業： ラツインセンター（タートルスタンの農業産業投資・技術センター）との農業技術開発
  - 農業： 山梨県産果物の販売（富裕層ターゲット）
  - IT： 山梨県のITニーズに合わせることが出来る。（ICL社（元富士通資本））
  - 代替エネルギー： 風力発電での技術協力（火力の代替）
  - イノベーション： イノポリス経済特区との学術連携、姉妹都市としての連携
  - ロボット： EidosMedicine社（<https://eidos-medicine.com/>）（カザン大学のスピンアウト：医療シミュレータ）とファナックとの連携
  - 大学連携： カザン大学との連携
  
- 山梨県との接点
  - ファナック社： 研究センター設立の際に、タートルスタンとの関係構築について議論。

## ヒアリング結果

### 2) タタールスタン共和国： ロシア関連日本団体

- タタールstanは連邦構成主体でも最も優秀な地域の一つ。経済規模は大きく、投資環境ランキングでも特に高い。産業の幅は広く、技術系も対応可能でポテンシャル高い。産業・技術力がロシアの中でも認められている。逆に多くのところからのラブコールが多い。
  - IT経済特区（イノポリス）
  - Kamaz社による自動運転技術開発 など。
- 大変親日的な地域であり、連携地域として期待できる。
  - 日本企業が進出しており、友好関係を大事にする。他地域との連携関係がなければ山梨県との連携が期待できる。
  - タタールstanは独自に日本進出しており、戦前から日本と強い結びつき。戦前にタタール人が来日し東京（新大久保）、神戸にコミュニティを作った。現在は、石川県、島根県との交流がある。
  - タタールstan日本文化情報センター「さくら」の設立（所長サディコヴァ女史は天皇陛下より勲章）、ROTOBO支援によるタタールstanの企業の生産性向上に関する協力、島根県への国際交流員派遣や、たたら製鉄とタタールとの関係研究など。
- 日本との交流関係
  - 石川県：交流関係があるが正式文書はない（中間報告より：2018年、金沢大学（石川県）とカザン連邦大と連携協定を結んでいる縁でタタールstan大統領が石川県を訪問し更なる人的交流を要請。他に新潟大、筑波大との交流中）。
  - 島根県：日本文化情報センター「さくら」を通じた国際交流、たたら製鉄とタタールとの関係研究、生産性向上。
- 連携可能性分野
  - IT：ITはイノベーション。当該分野では若い世代の連携が期待できる。行政府がきっかけを作り、その後、若い世代、スタートアップ企業同士での連携が形成されるのが好ましいと期待。スピード感が大事で、ITパーク同士の連携、IT人材交流に期待。

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 地域のポテンシャル

- GDP規模では国内12位
- ロシア南部のビジネスの中心地であり、必要なインフラはすべて整備。
- 地理的な優位性
  - 3つの海港
  - 主要な鉄道・高速道路：「クラスノダール・ロストフ・ナドヌ・モスクワー極東」幹線と輸送の開発
  - プラトー空港（2017年建設） - 国際評価では5つ星
- 多様性のある経済
  - 工業が30%を占める
  - サービス業の発展
  - 農業はGDPの11%を占めている（穀物輸出量で1位）



#### 政治・外交の中心地としてのロストフ州

出所) ロストフ州紹介資料

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 国際的活動

■ ロシアにおける国際・地域間協力の発展に大きな関心がある。

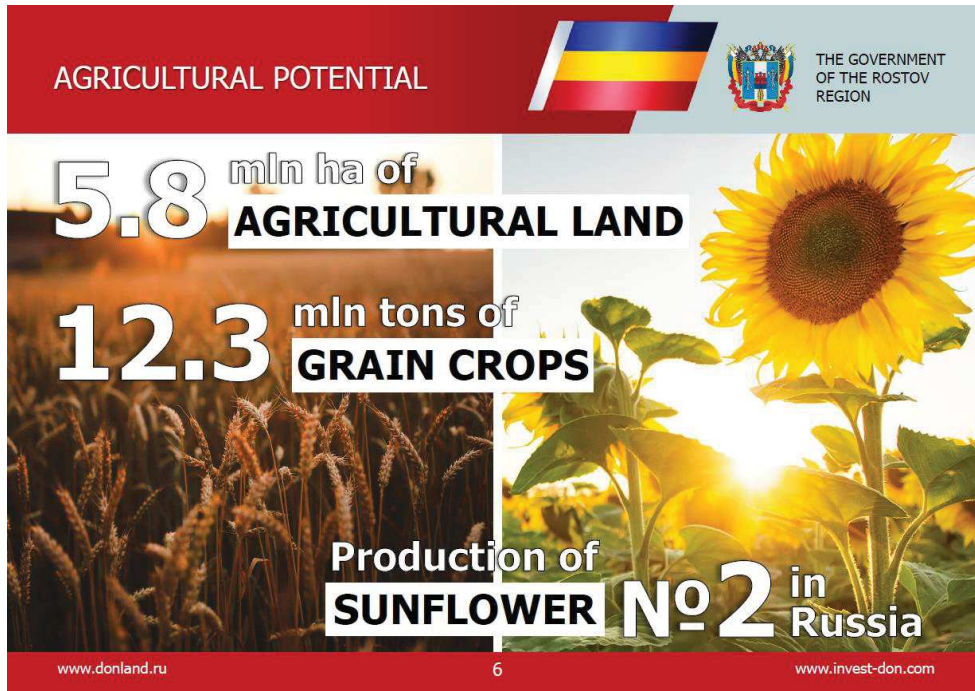
- ロストフ州は、外国との二国間関係の構築を地域発展のための重要な焦点として捉えている



出所) ロストフ州紹介資料

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 農業・酪農分野



#### ■ 農産物の最大生産地

- 主な製品は穀物：小麦、大麦、トウモロコシ、エンドウ豆、大豆。すべての種類の穀物や豆類を栽培。

#### ■ 養鶏業、牧畜業

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 産業分野

#### ■ 経済の代表的セクターは工業。

- 製造業は80%
- Rostselmash (<https://rostselmash.com/>)  
– ※農耕機具販売会社  
穀物収穫機の80%以上を製造。  
世界100カ国への輸出。
- MIG-26ヘリコプターの製造・組立
- 50種類以上の電気機関車の製造
- 原子炉の製造
- タガンログ・ベリエフ航空機科学技術コンプレックス(TANTK) – 水陸両用機Be-200ChS製造
- アトランティス・パック (<https://atlantis-pak.ru/>) - 食品パッケージ製造のリーダー。世界100カ国以上への輸出。

#### ■ 人材

- 人口400万人以上
- ロストフ・ナ・ドヌで約120万人
- 150の民族

The infographic is divided into two main sections. The left section features a red background with a white and red combine harvester in a field at sunset. Text includes 'INDUSTRIAL POTENTIAL', '>80.2% GRAIN harvesters in Russia', 'ROSTSELMASH Professional Agrotechnics', and 'The core of the Rostov regional AGRICULTURAL ENGINEERING CLUSTER'. The right section has a light blue background with a green and yellow MI-26 helicopter lifting a white passenger jet. Text includes 'THE GOVERNMENT OF THE ROSTOV REGION', 'ROSTVERTOL', and 'MASS PRODUCTION of the heaviest and load-lifting HELICOPTER MI-26'. The bottom of the infographic has a red bar with the website 'www.donland.ru', the number '8', and 'www.invest-don.com'.

出所) ロストフ州紹介資料

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング結果

#### 3) ロストフ州： 学術分野・貿易



#### ■ 学術分野

- 26の大学
- ロシアにおける学部生、大学院生、博士課程の学生数では4位。
- 南部連邦大学は、研究能力や教育プログラムの面でロシアのTOP10大学の一つであり、国際的なランキングにも含まれる。

出所) ロストフ州紹介資料



#### ■ 貿易

- ロシアの総輸出額で6位
- 非エネルギー輸出ではモスクワに次いで2位
- 2020年には、外国貿易を同水準に維持。
  - ・ 輸出は5%増加、90億USDドル
  - ・ 147カ国への輸出

#### ■ 2,093の輸出企業



## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 投資環境

#### ■ 投資環境

- 快適な投資環境
- ドイツ、フランス、シンガポールの企業
- 外国人投資家への優遇措置。  
例えば、インフラ接続の補償（最大95%）等。対策により、2021年に固定資本投資が20%増加。

FOREIGN COMPANIES  
IN THE ROSTOV REGION

THE GOVERNMENT  
OF THE ROSTOV  
REGION

Logos of foreign companies include: Coca-Cola, Pepsico, Frito Lay, Mars, Guardian, Praxair, Lagerwey, Air Products, Efes, Raven Russia, Esmalglass, Itaca grupo, Enel, Fortum, Vestas, Selgros Cash & Carry, Cargill, Raiffeisen Bank, Starbucks, Citibank, ADM, Bunge, Palmali Group of Companies, FM Logistic, Leroy Merlin, Alstom, SOWITEC, JTI Japan Tobacco International, KFC, Sanofi, Accor, Itella, EnergoProjekt Visokogradnja a.d., Burger King, Auchan, Metro, Radisson Hotels & Resorts, Courtyard Marriott, KPMG, Decathlon, McDonald's, LDC, Mercure Hotels, and Bilfinger.

www.donland.ru 11 www.invest-don.com

出所) ロストフ州紹介資料

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング結果

#### 3) ロストフ州： 観光分野 (#1/3)

TOURISTIC POTENTIAL  
www.visitdon.ru

Free Hearted Don Land  
Welcome to Rostov region!

**TANAIS**  
Monument of ancient civilization

**TAGANROG**  
The first Russian city built according to the Peter the Great' prefab plan, homeland of Anton Chekhov

**THE ROSTOV REGION – THE TERRITORY OF GREAT HISTORICAL HERITAGE**

**AZOV**  
Ancient town of the south of Russia

**VESHENSKAYA**  
Homeland of Mikhail Sholokhov

12

This slide features a collage of images related to the Rostov region's history and culture. It includes a stone archway, a woman in traditional white dress, a portrait of Peter the Great, a portrait of Anton Chekhov, a sunset over a body of water, a woman in a white dress holding a golden coin, a cannon, and a portrait of Mikhail Sholokhov. The text highlights the region's historical heritage and specific locations like Tanais, Taganrog, Azov, and Veshenskaya.

TOURISTIC POTENTIAL  
www.visitdon.ru

Free Hearted Don Land  
Welcome to Rostov region!

**THE ROSTOV REGION – THE TERRITORY OF ORIGINAL CULTURE: DON COSSACKS**

13

This slide focuses on the Don Cossack culture in the Rostov region. It features images of a woman in a red and gold dress, a man in a military uniform, a group of people on horseback, a large crowd of people in traditional dress, and a woman in a white dress. The text emphasizes the region's original culture and the Don Cossacks.

#### ■ 観光のポテンシャル

- 優待地域としてのロストフ州。
- #### ■ ショーロホフ、チーホフの故郷。

- ロストフ州はドンコサック発祥の地であり、これにちなんだ様々なフェスティバルが行われている。

- ガストロノミック・ツーリズム（地元の食や背景にある文化を体験するツーリズム）。ロシアの美食の都としてのロストフ州。

連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 観光分野 (#2/3)



- 豊かな自然と公園。狩りや釣りをする機会もある。
- 自然環境の面から、ツーリズム期間は5月から10月。
- タガンログ湾におけるヨットツーリズムの発展。



- ビジネスツーリズムの発展。五つ星ホテルがある。
- 家族経営のワイン作り。

出所) ロストフ州紹介資料

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 観光分野 (#3/3)

#### ■ 他国との観光協力の経験

- ツア-オペレーターが海外観光客を誘致。
- パンデミックの影響で、国内観光客が増加。
- 2019年設立の観光・ビジネスコミュニケーション庁 (<https://art-ro.ru/>)
  - マーケティング戦略
  - FAM Tourの開催
    - ✓ 2020年には実施できなかった。
    - ✓ 2021年ビジネスツーリズム促進のために、国営企業のためのFAM Tourを実施。
    - ✓ 海外FAM Tourはまだ実施されていない。



#### ■ ワールドカップ2018：インフラ開発。

- 日本のファンもロストフ州に集まった。

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 日本との貿易

#### ■ 日本との貿易

- 機器の輸入や輸出の多様化に関心。
  - ・ 輸出の97.5%が鉄・非鉄金属
  - ・ 菓子類（ハルバ、マーマレード、スイーツなど）2%
- 輸入
  - ・ 45% エンジニアリング製品
  - ・ 43% - 自動車産業用オイルなど
- 2021年前半、対日貿易は回復しており、輸出は3倍になっている。しかし、全体規模としては小さい。



## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 日本との協力関係（経済協力）

#### ■ 日本との経済協力

- JTIは2018年にロシア最大のたばこメーカーであるドンスコイ・タバックを買収した。JTIは、12百万米ドルを投資し、工場を開発する予定である。
- Siskan – メディカルセンターを建設予定。

#### ■ 科学と教育における日本との協力

- ロストフ国立経済大学（RINH）と神戸学院大学、海外地域研究の学士プログラム。日本語の教育もある。
- ドン国立工科大学と近畿大学。この協力関係は、日本政府の学術交流・日露間のビジネスプログラムに基づいている。



## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 日本との協力関係（外交）



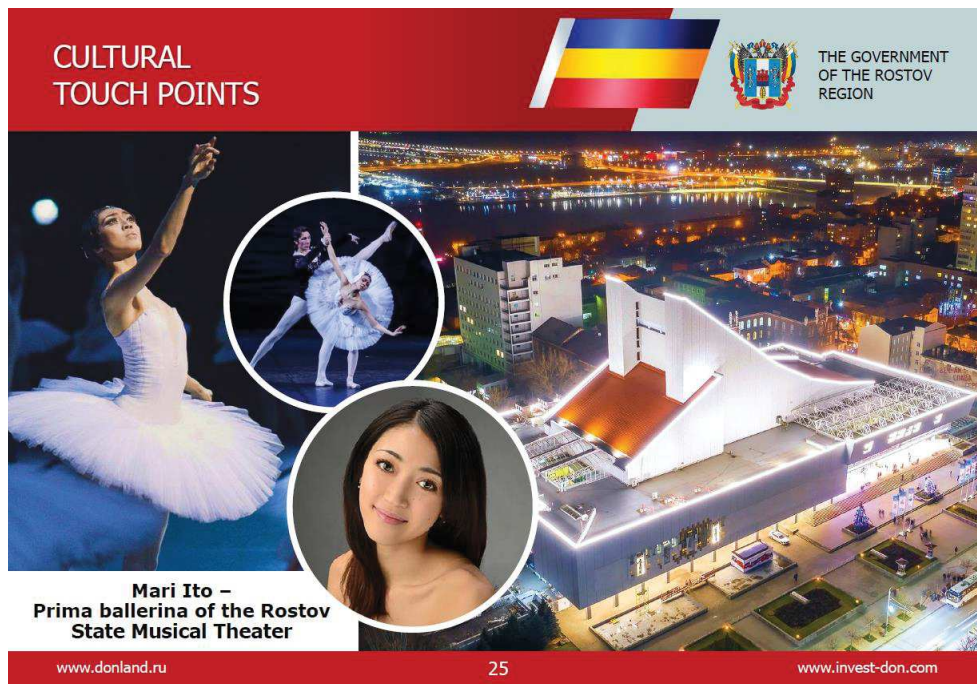
■ 2019年10月、上月豊久駐ロシア日本国特命全権大使がロストフ州を訪問。

- ロストフ国立経済大学（RINH）での講演

## 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査

### ヒアリング結果

#### 3) ロストフ州： 日本との協力関係（外交）



- ロストフ州はRussia-Japan Intergovernmental Committee on Trade and Economic Issues (日露貿易経済問題政府間委員会)に参加している。



## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 日本との協力関係

#### ■ 日本との学生交換プログラムの有無について

- 日本の大学では長期的な学生交流プログラムが提供されており、ロストフ州の大学では、1学期（半年）の短期交流が提供されている。ロストフ州の大学では英語での授業が行われている。
- 南部連邦大学が日本の大学とナノマテリアルに関する共同研究を実施している。
- 近畿大学との先端技術、自然科学、日露ビジネスをテーマとした協力関係がある。
- 日本の学生や研究者の数を増やしたい。ロストフ州からの訪日学生数は、ロストフ州に滞在する日本人学生数より多い。

#### ■ 他国との学生交換プログラムの有無について

- ロストフ州の大学は国際的な活動を積極的に行っている。教育交流プログラムなどは、各国のニーズに合わせて作成されている。
- 南部連邦大学は、大学交流の分野で50以上の協定を結んでいる。
  - ・ 例、ロストフ州の学生はヨーロッパの大学では1学期間の留学が可能。ヨーロッパからの留学生も積極的に招いている。
- ラテンアメリカの学生は、建築や文献学の学部に興味がある。
- 中国と「2+2」プログラムが実施されている。ロストフ州の教師が2年間中国で中国人学生を教え、その後、中国人学生がロストフ州に来て学位を取得する。
  - ・ 中国の学生は、建築や芸術に関連する分野を選んでいる。
- ロシアは奨学金を提案している。多くの留学生が南部連邦大学を選んでいる。
- ロストフ州の大学の強み
  - ・ 自然科学
  - ・ ロシアでのビジネスを中心とした経済学、文献学
- イタリアとの共同修士プログラムがある。
- EUからの教授が、最長で1年間の講義を行っている。

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 日本との協力関係（関心ポイント）

#### ■ 日本とロストフ州の協力計画

- 相互的なビジネスミッション。
- 日本の旅行会社のためのFAM Tourを行うことに意欲がある。
  - ・ パンデミックと東京オリンピックで延期。



The image shows a slide titled "ACTION PLAN FOR 2021-2022" with the Japanese and Rostov Region flags. It lists five key initiatives: 1. Japanese business mission to Rostov, 2. Rostov business mission to Japan, 3. Construction of a medical center, 4. Days of Rostov in Japan, and 5. Council of Governors session. A photo of the Rostov Region government building is on the right, with a red banner stating the region is open for cooperation. The footer includes the website www.donland.ru, the page number 28, and www.invest-don.com.

**ACTION PLAN  
FOR 2021-2022**

THE GOVERNMENT  
OF THE ROSTOV  
REGION

- 1** VISIT OF JAPANESE BUSINESS MISSION TO ROSTOV REGION
- 2** VISIT OF ROSTOV REGION BUSINESS MISSION TO JAPAN
- 3** CONSTRUCTION OF HIGH-TECHNOLOGY RUSSIA-JAPAN MEDICAL CENTER IN ROSTOV ON DON
- 4** DAYS OF ROSTOV REGION IN JAPAN
- 5** SESSION OF COUNCIL OF GOVERNORS OF RUSSIA AND JAPAN

**The Rostov Region  
is open for cooperation and ready  
to develop joint projects in all areas**

www.donland.ru 28 www.invest-don.com

出所) ロストフ州紹介資料

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： 日本との協力関係（関心ポイント）

#### ■ 農業:

- 霜やその他の気候に耐性のある選択的作物の栽培
- 収穫量を増やす技術
- ぶどう生産の発展： ロストフ州はぶどう栽培の点では北部に位置し、収穫したぶどうの保存技術が必要。経験を交換する意識がある。
- 付加価値のシェア拡大、農業製品からの商品・食品などの製造、など

#### ■ 貿易

- 日本からの機械の輸入
- 日本への輸出の多様化

#### ■ 共同活動の実施:

- ビジネスデレゲーションの相互訪問
- 日本の旅行会社へのFAM Tourの実施

#### ■ ITとロボティクス

- ロストフ市、タガンログ市はロシアのIT首都（ロシアのコンクールでITインフラ・産業が発達している都市として選ばれた）
- 共同開発

#### ■ 観光

- パンデミック後のRostourismによる日本の旅行会社へのFAM Tourの実施
  - 複合的なツアーパッケージの開発。例えば、モスクワ・ロストフ州
  - ガストロノミーツーリズム（地元の食や背景にある文化を体験するツーリズム）

#### ■ 大学間の交流プログラム

- ロストフ州の大学に日本からの留学生や研究者を増やす希望がある。
- さらなる研究協力（自然科学）

## ヒアリング結果

### 3) ロストフ州： ロシア関連日本団体

- ロストフはロシア南部の中心的地域で、クラスノダール程大きくはないが、ワイン産業もあり産業も発展、農業も豊か。
  - 温暖な気候で、ドン川があり、山梨県と同様に自然豊かであることから、交流しやすい連携候補地域であると感じられる。
  - 農業が発達しており、農産物、ワイン、観光での連携が期待できる。
  - ロストフは炭鉱地帯だった。炭鉱夫の街があったが、同時に多くの縫製工場があった。
  - ドクトルジバゴの舞台の土地。
  
- ロストフはイゾトフ東京総領事が熱心に沖縄との交流を検討してたが、その後、進んでいない。そのため、どのくらい日本との連携に関心があるかは不明。
  
- 日本との関係
  - JTが現地企業を買収。工場建設の予定。
  - 当地発祥のブランド：Gloria Jeans（Made in Russiaの代表的ブランド、Melnikov氏（創業者））が日本のJUKIの山岡氏を尊敬しており、社長時代にMelnikov氏を信じてミシンを出した。一時期、JUKIにとって世界最大の海外顧客だった。

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 観光分野 (#1/2)

- 観光産業の発展に関するヴォロネジ州政府の方針は、ヴォロネジ州の国家プログラム「文化と観光の発展」によって規制されており、以下のタスクが定義されている。
  - 観光および接客業のインフラ開発
  - 国内および国際的な観光市場における地域の競争力のある観光商品および観光資源の創出およびプロモーション
- 2021年6月31日付ツアーオペレーターの統一連邦官報に基づいて、ヴォロネジ州では、12のツアーオペレーター、250の宿泊施設、217の旅行代理店が登録されている。ヴォロネジ州における観光施設の連邦リストによると、116の分類されたホテルと他の宿泊手段がある。
- 2020年に、観光とレクリエーションクラスター（「Voronezh」と「Donskoy」）構築のためのプロジェクトがスタートした。
- 観光分野での投資政策は積極的進められており、今後数年間の、観光への投資家連合が組織化されている。
- 連邦の支援を受けて、戦略的計画およびプロジェクト形成のための措置が実施される。
  - ヴォロネジ州の観光開発戦略の策定
  - ズベルバンクとの共同プロジェクトの枠内における産業のデジタル化
  - 優先観光地域のマスタープランの作成
- イベント、ビジネス、医療、子供の環境など、優先的タイプの観光開発が継続している。
- 国内外の観光市場における地域観光資源のプロモーション政策を積極的に実施している。
  - 2つの主要な国際観光展示会への州の参加、展示会での情報提供とヴォロネジ州の観光ポテンシャルの提示
  - 5つのビジネスイベントへの参画
  - マスメディア代表者とツアーオペレーターによる2つの情報ツアーの実施

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 観光分野 (#2/2)

#### ■ ヴォロネジ州起業家・貿易局による 他国との協力例

- 観光分野での協力は2つの方向で実行される。
  - ・ 各国の観光可能性に関する相互促進プロモーション（国際会議や展示会、テーマ別会議、その他のビジネスイベントへの共同参加）
  - ・ 各国の観光機会に関する広告および情報資料、情報の交換。
- 近年、国内外の国々との積極的な協力はない。
- ヴォロネジ州と山梨県はかなり離れていること、直接輸送手段（直行便）がないこと、観光分野での日本との協力経験がないことから、モスクワとサンクトペテルブルクのツアーオペレーターによる合同ツアーへの参加を通じ、両地域の観光ポテンシャルの相互関係の継続が賢明であると考えます。

ヴォロネジ州経済開発局長 D.A. Kustov

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 文化・学術分野交流

#### ■ ヴォロネジ州における高等教育システムと科学的可能性

- ヴォロネジ州は、学生数においてロシア有数の地域のひとつである。同州には、分校を含む27の高等教育機関があり、2020年10月1日現在、学生・大学院生の合計は102,000人となっている。高等教育の訓練・専門分野は219分野、中等教育の専門分野は43分野である。
- 高等教育は、この地域の科学的潜在力の発展と密接に関連している。この地域の高等教育機関で働く100人以上の科学者がロシアおよび国際科学アカデミーのメンバーであり、11人の学者、95人の科学、技術、文化、建築の名誉ある労働者である。この地域の大学、研究機関、実験計画局では、理学教授1600名以上、理学准教授4600名近くが働いている。
- 2020年までで、ヴォロネジ州の主要大学における研究開発資金の合計は9億ルーブルを超えた。
- 教育機関をベースにすると、小規模な革新的企業の運営に78社が成功しており、学部生や卒業生が学術研究やインターンシップに携わっている。
- この地域には40を超える研究機関、公的設計機関、29のエンジニアリングセンターがある。
- 高等教育機関にはイノベーションを発揮するイノベーション・技術センター、製品認証センターや研究所、ユニークな設備の共同利用センター、実験設備、その他の科学・科学サービス施設も充実している。
- また数学、固体物理学、量子エレクトロニクス、核物理学、物理化学、生物学及び生態学、地質物理学、機械工学、情報学及び自動工学、考古学、言語学、言語学その他の科学に関する学校が創設されている。

ヴォロネジ州教育科学青年政策局、ヴォロネジ州文化局

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 農業分野

#### ■ 農業:果実(桃及びぶどう)及びワイン生産及び貿易における協力

- ヴォロネジ州の農業政策局によると、優先事項(もも、ぶどう、ワイン製品の生産と貿易)として言及されている領域は、ヴォロネジ州の農業セクターにとって重要な領域となっていない。
- ヴォロネジ州からの農産物は60カ国以上に輸出されている。ヴォロネジ州からの農産物の3分の2は10カ国に輸出されており、うちトップはトルコ(総額の19%以上)、CIS諸国、中国、ラトビア、デンマーク、スイスなどの欧州諸国（2021年8月1日現在）。

#### ヴォロネジ州の農業製品主要輸出先国（2021年8月）

| №  | 国名       | 輸入量(百万ドル) | 主要な輸入品(国内総量に占める割合)   |
|----|----------|-----------|--|
| 1  | トルコ      | 52.54     | ひまわり油(56.3%)、小麦(25.3%)、糖蜜(10%)、トウモロコシ(5.2%)                                |
| 3  | ウズベキスタン  | 26.14     | ひまわり油(79.5%)、麦芽(9.3%)、小麦(3.1%)   |
| 2  | ラトビア     | 21.84     | 澱粉生産からの残留物(36.7%)、オイルケーキ(35%)、トウモロコシ(14.4%)、小麦(13.2%)                      |
| 5  | アゼルバイジャン | 18.21     | 小麦(55.6%)、マーガリン(19.5%)、動物用飼料(6.5%)、食品(5.3%)、バター(4.1%)、砂糖(4%)               |
| 4  | 中国       | 13.46     | 大豆(28.2%)、冷凍牛肉(25.5%)、菜種油(23.9%)、その他の植物油脂(17.3%)、牛乳および乳清(5%)               |
| 6  | デンマーク    | 8.26      | 油粕(100%)   |
| 7  | タジキスタン   | 12.47     | ひまわり油(82.4%)、マーガリン(5.7%)、その他の食品(5.7%)、パン・パストリー(3.5%)                       |
| 8  | ウクライナ    | 11.55     | マーガリン(18.9%)、ひまわり油(18.2%)、食品(16%)、大麦(15.6%)、パン・パストリー(5.6%)、穀物、加工品(5.6%)    |
| 9  | ベラルーシ    | 7.95      | ひまわり油(23.9%)、ひまわり種子(21.7%)、パン・小麦粉菓子(15.5%)、ジャム、ゼリー、マーマレード(6.4%)、加工穀物(5.4%) |
| 10 | スイス      | 7.6       | 小麦(99%)、アマモ種子(1%)。   |

ヴォロネジ地域経済開発部長 D.A. Kustov



## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 産業分野 (#1/2)

#### ■ 工業団地開発

- 過去10年間にわたり、ロシアの平均的価値の向上のため、工業団地のダイナミックな発展が続いている。2020年はパンデミックにもかかわらず、工業生産量は4%増加した。この10年間の平均年間成長率(+8%)は、ロシア連邦で5位である。
- 2021年前半の結果によれば、州の工業生産は12.8%(ロシア-4.4%)増加し、加工業も含めて15.7%(ロシア-106.4%)増加した。
- 同地域の企業は3817億ルーブル相当の製品を出荷しており、2020年の同時期と比較すると119.6%である。
- 化学工業、コンピュータ、電子・光学製品、機械・装置等の生産は、地域産業の出荷量に占める割合が最も大きい。
- ロシア国内において同地域は、製造業規模で26位となっている。
- 地域の産業ポテンシャルを発展させ、製品の競争力を高めるために、ヴォロネジ州政府は企業に財政支援を行っている。
- 地域支援の総額は8130万ルーブルであった。連邦産業開発基金及び地域基金のプログラムに基づき、国際展示会への参加に伴う研究開発費の一部を銀行保証に充てるための補助を行った。
- 産業振興地域基金は、ローンのメカニズムを通じて支援を行っている。2020年には運転資金の補充を目的とした「運転資金」プログラムが実施され、2021年には「技術開発」プログラムが実施されている。
- 2021年には、産業を支える財源は8,300万ルーブルになる。
- さらに、連邦政府が対象とした産業セクター支援は、2020年には31億ルーブルに達した。このうち、14億ルーブルは産業開発基金のプログラムの下で提供され、7億ルーブルはこの地域で活動する防衛産業企業によって調達された。

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 産業分野 (#2/2)

#### ■ 2021年前半のヴォロネジ州の対日貿易

- 2021年上半期には、1200米ドル(昨年同期間には消耗品がなかった)の輸出物資が再開された。2020年1～6月と比較すると、輸入量は47.5%増加し、49億7500万米ドルとなった。

#### ■ 日本との協力活動

- ヴォロネジ州は日本との協力の実績がある。
- OFS (米国)の100%株主である古河電工(日本)のJSC「OFS RUS VOKKK」は、マスロフスキー工業団地で活動を行っている。OFS RUS VOKK JSCの主な活動は、光ファイバ通信ケーブルの開発・生産である。
- 京セラ(株)、電化(株)、(株)ADWILLは、Voronezh Semiconductor Assembly Plant JSC (VZPP-S JSC)に、電気・無線機器の生産資材を供給している。
- 加えて、同社はマイクロエレクトロニクス分野において、日本との相互に有益な協力を確立し、発展させることに関心がある。
  - ・ 東京エレクトロン山梨(株)
  - ・ 日立パワーセミコンダクタデバイス山梨工場(株)
  - ・ 株式会社リバーエレテック
  - ・ (株)フジコム
- VASO PJSCは、オリンパス社製映像システムおよびその部品を、航空機エンジンの検査用に購入することを検討している。RGM-Neft-Gas-Service社は、石油・ガス産業における日本企業との協力に関心を持っている（ヴォロネジ産業・運輸省）。
  - ・ ENEOSホールディングス(石油ガス)
  - ・ 大阪ガス(株)
  - ・ 昭和シェル石油株式会社
  - ・ 東京ガス
- VSCBポリウスJSCは、無線電子産業における協力を開発する準備が整っている。

ヴォロネジ地域経済開発部長 D.A. Kustov

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター インフラ開発 (#1/3)

#### ■ 1. ヴォロネジ地域におけるインフラ整備

##### ■ 1.1. ヴォロネジ地域におけるインフラ整備の主な業務

- 2035年までのヴォロネジ市街地の経済社会開発戦略により、インフラ整備の一環として、以下の分野に取り組む必要がある。
- A)均衡空間展開
  - 市街地決済システムの整備水準の格差解消
  - 都市環境の質の改善
  - 品質と利便性の高い空間の形成、創造的なアイデアの交換のための機会の創出
  - ヴォロネジ州内の統合的な市町村間関係の強化
- B)交通・交通基盤の整備
  - 近代的な交通インフラの形成
  - ヴォロネジ市街地のスマート交通システム(ITS)の構築
  - ヴォロネジの都市交通ネットワークの最適化
  - 快適な都市内旅客輸送を実現するための交通車両構成の形成
  - 道路施設インフラの近代化、都市道路の事故率の低減
- C)住宅・ユーティリティ・インフラ分野の発展
  - 老朽化・崩壊危険性のある住宅の撤去
  - 近代的な高品質住宅の建設条件の創出
  - マンションの改修の推進
  - マンションの中庭エリアの改善レベルの向上
  - 成長する都市のニーズに応じたユーティリティ・インフラのバランスの取れた開発
  - 都市ユーティリティ・インフラ事業システムへの近代技術の導入
  - ユーティリティ・インフラ施設の信頼性・最新情報の定期的な収集・体系化を図るため、統一的な情報システムの構築
- D)天然資源の合理的利用と環境安全
  - 環境汚染物質の予防・削減
  - 都市環境を改善し、公衆緑地と特別保護地域のネットワークで構成される環境枠組みの構築
  - 都市環境を保全・育成していく文化の形成

投資誘致・地域開発局

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター インフラ開発 (#2/3)

#### ■ 1.2. 他国との協力事例

- 現在、ヴォロネジ州では、農業・工業志向を中心とした大規模なプロジェクトが実施されている。過去数年間にわたり、例えば、Tönnies Holding (ドイツ：食肉企業)、Pirelli (イタリア：タイヤメーカー)、Bunge (米国：食品会社)、Bionorica (ドイツ：製薬会社)、Siemens (ドイツ：総合電機インテグレータ)、Kuhn (フランス：農業機械メーカー) などの企業が同地域に進出し生産設備を建設してきた。
- 日露投資協力の枠組みの中で、ヴォロネジ州において、快適な都市環境を創造するためのパイロット・プロジェクトが開始された。
- 道路交通を最適化し、ラッシュ時間帯の主要路線の渋滞を減らすため、京三製作所と共同でスマート信号システムである ARTEMIS を地域に設置した。
- 「RVC-Voronezh」と積水化学(株)は、非開削型管路更生技術を用いて、ヴォロネジの Sovetsky 地区に下水道管を修復するパイロット・プロジェクトを実施した。
- また、ナイス(株)では、住民の生活環境を改善するプロジェクトの一環として、住宅内の温度・湿度・気圧を調節する「スマートハウス」技術を試作した。これは、新しい建築材料の物理的性質を研究する機会となった。特に、石膏をベースとした新建材の開発を進めている。建物には、入居者の気圧または温度の上昇に対応する環境に優しい仕上げと健康センサーが含まれる。敷地内には、太陽エネルギーを利用した省エネシステムを導入。

#### ヴォロネジ州経済発展局

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター インフラ開発 (#3/3)

#### ■ 2. ヴォロネジ州と山梨県の連携の提案

- ヴォロネジ州のマイクロエレクトロニクス企業は、パワーエレクトロニクスの有望分野、窒化ガリウムと炭化ケイ素技術を用いた結晶生産の創出、プラスチックパッケージにおける製品の組み立て技術、SiC（シリコンカーバイド）技術に基づく結晶の生産、実験製品の試験と試験、IPソリューション(通信コストの削減・運用管理の効率化を目的としたソリューションシステム)の開発、要素ライブラリー、デジタル高集積エレクトロニクスソリューションの創出などに取り組んでいる。
- ヴォロネジ州の化学工業分野では、ブタジエンゴム、乳剤のブタジエンスチレンゴム、溶液重合のブタジエンスチレンゴム、熱可塑性エラストマー、アンモニア、硝酸アンモニウム、硝酸アンモフォスカ、硝酸、技術チョークを生産している企業等が操業している。
- ヴォロネジ州は、山梨県との間で、地域の化学業界の既存能力の開発や、新しいタイプの化学製品の開発において、相互に有益な協力関係に関心を持っている。
- また、産業分野を含めた有能人材の育成については、ヴォロネジ地域の潜在的可能性を踏まえ、燃料電池の創出に係る協力に関する日本側の提案の実施への参加について議論することが可能である。
- ヴォロネジ州の行政機関からは、日本側の提案をすべて検討する用意があること、また、日本側パートナーとの間で様々な方向での投資案件の実施に関心がある。
- ヴォロネジ州の関係行政機関の提言を踏まえ、協力の主要分野として、日本側との投資案件の実施に関心を有する点として、以下の分野を挙げることができる。
  - 工業生産(マイクロエレクトロニクス、パワーエレクトロニクス、デジタル高度統合エレクトロニクス水溶液の創出、クリスタル生産の創出、燃料電池の創出、化学工業、近代機械工学、ハイテク機器の製造等)
  - 農業分野
  - 研究活動・高等教育分野
  - 公園・観光インフラの創出

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 日本との経済関係 (#1/2)

■ 2010～2020年におけるヴォロネジ州の対日貿易動向を表に示す。

(1,000 USD)

|     | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  | 2017  | 2018  | 2019  | 2020  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 貿易額 | 806   | 7,040 | 8,896 | 3,328 | 7,112 | 7,801 | 4,367 | 5,605 | 9,084 | 3,126 | 8,780 |
| 前年比 | -     | 874%  | 126%  | 37%   | 214%  | 110%  | 56%   | 128%  | 162%  | 34%   | 281%  |
| 輸出額 | 241   | 3,723 | 761   | 406   | 1,574 | 588   | 294   | 10    | 1     | -     | 2     |
| 前年比 | -     | 1548% | 20%   | 53%   | 388%  | 37%   | 50%   | 3%    | 14%   | NA    | NA    |
| 輸入額 | 565.4 | 3,317 | 8,135 | 2,922 | 5,538 | 7,213 | 4,073 | 5,595 | 9,082 | 3,126 | 8,778 |
| 前年比 | -     | 587%  | 245%  | 36%   | 190%  | 130%  | 56%   | 137%  | 162%  | 34%   | 281%  |

- 2020年のヴォロネジ州の対日貿易額は、2019年に比べて2.8倍に増加し、8,780,100ドルとなった。同時に、報告期間の輸出活動は1900ドルであった(2019年には輸出出荷はなかった)。2020年の輸入は2019年に比べて2.8倍に増加し、合計8,778,200ドルとなった。2020年の輸入量は\$8,778,200であった。貿易収支はマイナスであった。
- 2020年の日本への輸出品目はゴム製品のみであった(輸出の100%)。
- 2020年の日本からの輸入品は、前年と同様に、工業製品によるもので輸入品の87.6%を占めている。化学品、ゴム製品が5.1%、金属・金属製品が4.3%、繊維製品、繊維製品、履物が1.9%、その他が0.7%。
- 2020年の日本からの主な輸入品は、光学・写真機器等72.6%(2019年は18.2%)、ボイラー・機器14.3%(2019年は21.8%)、その他化学製品2.9%、鉄金属製品3.4%、羊毛・フェルト・不織布材料1.9%、有機化合物1.9%、電気機械器具0.8%、玩具・ゲーム・スポーツ用品0.6%。

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 日本との経済関係 (#2/2)

- 2021年第1期には、日本とのヴォロネジ州の外国貿易は1673.5千ドルに達した。2020年の同時期の2.5倍(2020年第1四半期-676,500ドル)である。昨年、日本とのヴォロネジ州の相互貿易は、日本製品の輸入によるもので、貿易収支はマイナスであった。
- 2020年第1四半期における日本の輸入品の大半は、光学・写真用機器等(全輸入品の78.9%)であった。玩具、ゲーム、スポーツ用品(6.8%)、鉄製品(5.5%)、ボイラー・設備(4.1%)、アルミ・アルミ製品(2.7%)も比較的少量が日本から輸入されている。上記に加えて、ヴォロネジ州は少量のプラスチック、ゴム製品、紙及び段ボール、化学糸、綿、フェルト及び不織材料、天然又は培養真珠、貴金属又は半貴石、貴金属及びそれらの製品、衣装ジュエリー、コイン、銅及びその製品、ベースメタルの工具及び器具、電気機械器具、各種完成品を輸入している。
- ヴォロネジ州の対日貿易額は、2021年上期には4975.9千ドルとなった。2021年上半期は4,975,900ドルと、前年上半期(2,364,000ドル)の2.1倍の水準となった。同時に輸出量は1.2トンになった。2020年前半には、ヴォロネジ州から日本への輸出はされていなかったが、輸入は4,974,700ドル(2020年前半にはヴォロネジ州から日本への輸出はなかった)であった。2020年上半期の輸入量は49,747,000ドルで、2020年上半期の2.1倍(2020年上半期-2364,000ドル)となっている。送料として輸出は0.02%、輸入は99.98%で貿易収支がマイナスである。
- 2021年7月1日のヴォロネジ統計によると、ヴォロネジ州には、日本資本が登録され、運営されている企業が1社ある。

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 日本との協力関係 (#1/2)

#### ■ 2020～2021年のヴォロネジ州の日本との協力

- ロシア連邦と外国との間の貿易経済的および科学技術的協力に関する政府間協議の中で、ヴォロネジ州は、貿易経済問題に関する日露政府間協議会の活動として位置づけられている（日露経済協力）。
- V.Y. Kstenin（ヴォロネジ市長）は、貿易・経済問題に関する日露政府間委員会の輸送に関する日露作業部会のメンバーである。
- 2020年2月4日から2月6日にかけて、ヴォロネジ州政府、ヴォロネジ州産業運輸省、ヴォロネジ市政府において、野村総合研究所の参加を得て、数々の会合及び交渉が行われた。
- 2020年2月11日、日建設計総合研究所及び(株)ナイスの関係者との間で、日露プロジェクトの実施について議論する会合が、ヴォロネジ州市の都市管理局において開催された。
- 2020年3月19日、ヴォロネジ市において、八千代エンジニアリングと野村総合研究所の関係者との実務会議がテレビ会議を通じて開催された。ヴォロネジ市における交通インフラ近代化事業の実施に向けた課題について議論した。
- 2020年11月5日、ヴォロネジ州政府は、日本の国土交通省、八千代エンジニアリング、野村研究所の関係者によるキックオフ会議を開催した。日本側は、日本の国土交通省鉄道局プロジェクト開発室長の馬場氏が主導した。ヴォロネジにおける都市鉄道旅客輸送の開発と日露プロジェクト「ヴォロネジにおける都市鉄道建設の実現可能性調査のための研究」の実施について議論した。この会合は、ヴォロネジ州A. Yu. Verkhovtsev政府副議長により行われた。同会合には、ヴォロネジ州政府及びヴォロネジ市交通インフラ整備事業を担当する機関の代表が参加した。

ヴォロネジ地域経済開発局



## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州：レター 日本との協力関係 (#2/2)

- 2020年12月2日、V.A. Tokarev.ロシア連邦運輸副大臣を議長とする日露運輸作業部会(VCNS：Virtual Network Computing Systemモード)の第7回会合には、V.A. シャバラトフ第一副知事及びヴォロネジ州 S.A. Petrin.都市経済行政第一副局長が出席した。日本側から、岡西康博国土交通審議官を筆頭に、国土交通省、外務省の関係者が参加した。
- 2020年12月15日、日露貿易経済委員会地域間協力小委員会第9回会合にボリス・A・Biketov経済開発局次長が参加した。VCNS（Virtual Network Computing System）モードで開催された同会合には、鈴木浩外務審議官をはじめ、ロシア連邦構成自治体や日本の都道府県の関係者が参加した。この会議は、ロシアにおける日本年(2020年～2021年)の進展について議論することを目的とした。
- 2020年12月15日、ヴォロネジ州立医科大学が主催する国際科学実践会議「医学教育における外国語」が開催された。同会議には、宮崎大学医学部のMichael Gest教授(日本)の出席を得た。

ヴォロネジ地域経済開発局

## ヒアリング結果

### 4) ヴォロネジ州： ロシア関連日本団体

#### ■ 日本との関係

- 日露協力のプログラムがあるが、日露双方における期待の相違から協力が進展していないものがある。
- 工業、軍需産業、通信機器関連企業が昔からある。産業分野で協力できる分野を探す必要がある。
- 古河電工の子会社（元米国企業）で光ファイバーを生産している。親日的地域なので、様々なニーズが出てくる可能性がある。なので逆に注意が必要。

#### ■ 連携可能性分野

- 土地が豊かで農業の中心的地域であり、この農業分野での連携可能性に期待がある。

#### ■ ヴォロネジの連携に関する姿勢

- ヴォロネジのモスクワ代表部は活発で、日本との協力が期待できる。
- ヴォロネジは投資開発プロジェクトで日本の道路信号導入の実績があり、それをフォローをしたいところ。しかしヴォロネジ側は日本との協力を積極的とは感じられない。その意味で実績はあるものの、日露協力推進に対する判断が鈍い部分がある。

## ヒアリング結果

### 5) ロシア関連日本団体へのヒアリング総括：山梨県とロシアの地域との連携に対する期待

#### ■ 連携地域について

- ロシア欧州側地域との連携は良い考えである。
- 山梨は自然、ぶどう＝農業関連での連携、似通った産業を持った地域が良い。
- 人口・産業規模が近い地域。
- 購買力があるのはモスクワ周辺。
- モスクワ州、ウラジミール州、トゥーラ州（モスクワ近くで農業盛んだが、軍需産業地域）。
- トヴェル州（日立建機工場あり、ロシアで工業地帯としての発展期待がある）
- 日本企業のプレゼンスが高い地域は連携に関心があると考えられる。プーチン大統領の関心も日本との連携において、日本企業との関係があることを重視していることが知られている。

#### ■ 連携への期待

- 文化的、経済的の両面での交流、知事同士の交流関係の構築。
- 日本企業の招致。
- 協同で製品・技術開発が出来る協力関係（Made In Russia政策で輸入が難しいという議論がある一方、ロシアにない生産財の輸入はWelcome：北九州の例）。

#### ■ 日露双方の知事が変わると交流の方針が大きく変わる。時によって活動状況に影響が出ないことが望ましい。

## ロシア関連日本団体へのヒアリング

### ヒアリング結果

#### 5) ロシア関連日本団体へのヒアリング総括：日露地域連携に関する現状、事例（活動、成果・評価）

| 質問項目                     | 結果・地域ごとの推奨度  |
|--------------------------|--|
| 北九州(八幡製鉄)とウラル(チェラビンスク州等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄をテーマに連携を検討。北九州の約15社がROTOBOメンバーで参画。企業が動いて（経済先行）、市役所が動いた珍しいケース。</li> </ul>   |
| 宮城県とニジニ・ノヴゴロド            | <ul style="list-style-type: none"> <li>10年以上の交流。前知事時代に交流関係を締結。</li> <li>毎年宮城県からデレゲーション。最近では仙台大学などから来ている。</li> <li>人的交流は継続するも、経済交流が当初目論見通りに成果になっていない。</li> <li>宮城はニジニのIT技術に注目。ニジニはインテルのロシア法人研究所がある。具体的なテーマ設定の検討が進んでいる。</li> </ul> |
| 山口県・市とクラスノダール州           | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年前からの交流で、官邸からのプッシュによるもの。市では山口市とソチ市。</li> </ul>   |
| 栃木県とカルーガ州                | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車関連で交流が行われつつある。相互に知事が行き来している。</li> </ul>  |
| ナホトカ市と小樽・舞鶴・敦賀市          | <ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹都市関係にある。</li> <li>特に舞鶴市との連携関係は非常に活発で継続的に連携活動している。歴史的な関係が基盤にある（シベリア抑留の歴史）。</li> </ul>  |
| 静岡県とニジニ・ノヴゴロド            | <ul style="list-style-type: none"> <li>提携協定締結段階にある。外務省も協定を承認。</li> <li>下田に来航した提督プチャーチンがノヴゴロド出身であり文化的つながりがある。</li> <li>他方、両地域には経済規模に差があり、話題の乏しいといった問題意識がある。</li> </ul>  |
| タタールスタン共和国と島根県           |  |
| その他                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>沿海地方など極東地域と日本海沿い地域間の連携の歴史は長い。一方、具体的な活動という点で、ばらつきがある。</li> <li>日露双方の知事が変われば関係がガラッと変わる。時々で活動状況が変わることには疑問がある。</li> <li>大阪市（サンクトペテルブルク市）は橋本知事になってから活動はほとんど皆無。</li> </ul>                      |

## ヒアリング結果

### 5) ロシア関連日本団体へのヒアリング総括： ロシアと諸外国との地域連携の状況

- ロシアの諸外国との地域連携はソ連時代の友好関係を継承しているのが多く、ロシアになってから友好関係を結んだ例は少ない。
- ロシアと欧州の結びつきは日本よりも強く、地域間交流が活発に行われている。
- 一方、2014年以降は欧州との交流がなくなっているとの指摘もある。
- 韓国とロシア間の行政レベルでの交流はあまり活発ではない。一方、中国は経済的な交流に積極的である。地域的にも近いので、活動的で規模が大きい但し詳細は分からない。
- 極東での姉妹都市活動を見ると、日本は積極的に交流を行っていることが窺える。

## ヒアリング結果

### 5) ロシア関連日本団体へのヒアリング総括： 地域連携における留意点

- 相互の連携協力関係
- 観光はロシアでも力を入れているので良いテーマ。農業はどこの連邦構成主体でも重視しているため良いテーマである。
- 文化的な連携を土台に、経済的連携を作ることが肝要。
  - 経済が伴わないと失速する。
  - 経済的成果を求める傾向が日本は強くなっているが、強め過ぎてしまうと、短絡的な成果志向で結果的に良いことにならない。
  - 文化、スポーツ及び相互理解に基づく連携基盤の上に、民間レベルでのビジネスマッチングを生み出してゆくことが肝要。
  - 経済交流の見通し、面白いテーマがあることが大切。経済交流は現在は規模が小さくても、ポテンシャルがあることが大事。
- 地域間交流は毎年決まったことを粘り強くやってゆくことが大事。世代につないでゆくことで成果が出る。
- そのための連携にかかるキーパーソン、連携体制づくりが重要。
  - 日露相互に連携に熱心になれる人材が必要。知事を含む幹部が交流に対し積極的かどうかは鍵。知事同士の交流が左右。
    - ・ 北九州の連携では両国にキーパーソン。イベント単発だったが、キーパーソンの存在によって継続し合併企業も出来た。
  - 露日協会（ロシア）があり、各地域に露日協会の支部がある。露日協会の人を核に、キーパーソンをしっかりと置くことが大事。各都市も欧州との連携関係があるので、山梨の影が薄くならないように。
  - 官民における日本側に連携体制がしっかりしていることが必要。
- 経済的連携における民間企業に関する留意点
  - 中堅企業以上でないと連携活動を継続することが難しい（連携活動に残っていけない）。
    - ・ 国際経験、法務・財務で専門部門を持つ規模、または地元商社により現地の中小企業をまとめる体制。
    - ・ そのような企業にキーパーソンが存在する事。北九州では安川電機関連の企業がイニシアチブをとった。
    - ・ ロシアにおいて事業を行う場合、法的に定められたペーパーワークや、係る膨大なアドミ業務等への対応の負担が大きい。
  - 経済的な面は、マーケティング的アプローチで検討すべきである。

1. 連携有望候補地域の選定
  - 1) 連携候補地域の抽出とスクリーニングの方法
  - 2) 連携検討候補13地域の抽出
  - 3) 連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定
  
2. 連携有望候補地域4地域のヒアリング調査
  - 1) 連携有望候補地域4地域の連携分野関連調査
  - 2) 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査に基づく評価
  
3. 連携有望候補地域の結論

## 連携有望候補地域の総合評価

- 各地域とも観光、文化・学術分野を始め、各地域において中核となる産業分野における山梨県との連携可能性に対する関心と期待がある。
- 日本との貿易拡大に対する期待も存在し、山梨県産の農産品についても各地域、一定の富裕層における需要も期待できるものと考えられる。

### タートルスタン共和国

- 連携の実現性は高く、行政府の対応は迅速で明確であると考えられる。
- 連期テーマとしてはIT、機械・ロボット、化学、果実の栽培技術、大学等の学術連携、イノベーション領域においても期待が出来る。
- 連携テーマの具体化が前提であり、短期間での成果が期待される。

### ロストフ州

- 南ロシアの中核地域として、農業が発達し、同分野（ぶどう等）、ワイン、農業機械、水素、風力・太陽光発電、IT分野などでの連携が期待される。また、観光分野での交流にも関心が高い。
- 総じて、日本との連携に対して強い関心がある。
- 貿易拡大への期待があり、州政府の連携意向は高いが、他地域に比較して日本との関係で実績に乏しい。

### ヴォロネジ州

- 農業、産業共に開発されている地域であるため、潜在的な連携ニーズは存在し、様々なテーマを検討できる可能性がある。観光、燃料電池、機械・エレクトロニクス分野での連携・協力に関心。
- 日露経済協力を通じた日本との関係が豊富で、日本との関係継続への期待はあるため、具体的な連携テーマについて合意することで、連携の進展が期待できる。
- 日露経済協力の枠で、連携活動に関して、日本政府、ロシア政府の協力を取り付けられる可能性があるものと考えられる（協力プロジェクトの存在）。



## 連携有望候補地域の連携有望分野

| 連携分野        | タートルスタン共和国                                | ロストフ州   | ヴォロネジ州                             |
|-------------|---|---|------------------------------------|
| 観光          |   | ● ガストロノミーツーリズム(*4)、FAM Tour                                   | ● ツーリズムに係るインフラの開発<br>● 相互促進プロモーション |
| 農業          | ● 果実の栽培技術、日本産果実のロシア内展開<br>(主要生産：穀物)       | ● 農業技術<br>● ぶどう生産・保存、ワイン生産<br>● 農業加工食品生産<br>(主要生産：穀物・マメ、牛と家禽) | ● 主要生産：穀物、豆類                       |
| 工業・<br>機械産業 | ● 機械部品提供・技術協力(*1)<br>(石油化学、トラック・自動車、航空分野) | ● 機械・エンジニアリング部品・<br>技術協力<br>(農業機械、航空分野)                       | ● 燃料電池の製造<br>● 化学工業<br>● エレクトロニクス  |
| ロボット技術      | ● ロボット技術開発(工業・医療)(*2)                     |   |                                    |
| IT          | ● IT技術開発連携・人材交流(*3)<br>(自動運転技術、FA等幅広い)    | ● IT技術開発連携・人材交流<br>・Taganrog市: 781社のIT企業集積                    |                                    |
| 代替<br>エネルギー | ● 風力発電開発                                  | ● 水素<br>● 風力発電、太陽光発電  | ● 燃料電池                             |
| 医療分野        | ● EidosMedicine社(医療系ロボット)<br>● 大学との共同研究   |   |                                    |
| 文化・学術       | ● 留学、共同研究                                 | ● 交流プログラム、共同研究(自然科学、ナノマテリアル等)                                 | ● 留学、共同研究<br>● 産業分野の人材育成           |
| その他         |   | ● 貿易：付加価値のある商品を日本へ輸出  |                                    |

(\*1)KAMAZ社(トラック・自動車)、ツボレフ(飛行機)、Kazan Helicopters(ヘリコプター)、Nizhnekamskneftekhim(石油化学)

(\*2)Eidos Medicine社、Arkodim社等、(\*3)・GK ICL社(受託、自動運転、生産分野)、National center of information社(デジタル医療、DX)、INFORMPARTNER社(モバイルアプリ)、Taxnet ZAO社(電子文書管理)(\*4) 地元の食や背景にある文化を体験するツーリズム

## 参考資料) ロストフ州における最大IT企業

| №  | 会社名                               | 活動/産業                       | 売上高 (百万RUB) |      | 純利益 (百万RUB) |      |
|----|-----------------------------------|-----------------------------|-------------|------|-------------|------|
|    |                                   |                             | 2020        | 2019 | 2020        | 2019 |
| 1  | ООО "Торговые решения"            | ソフト開発の開発                    | 465         | 331  | 25          | 28   |
| 2  | ООО "Оджетто Веб"                 | ウェブサイト、モバイルアプリの開発           | 372         | 309  | 128         | 79   |
| 3  | ООО "Программные технологии"      | ソフト開発                       | 292         | 278  | 59          | -13  |
| 4  | ООО "Симпл код"                   | ソフト開発                       | 247         | 113  | 123         | 41   |
| 5  | ООО "Авиаок"                      | ソフト開発                       | 236         | 220  | 23          | 12   |
| 6  | ООО "Лайт мэп"                    | モバイルアプリ・ゲーム開発               | 228         | 207  | 31          | 32   |
| 7  | ООО "Дистиллери"                  | モバイルアプリ開発、ウェブベースのアプリケーション開発 | 211         | 156  | 0           | 7    |
| 8  | ООО "Вебдизайн-Юг"                | ソフト開発                       | 179         | 26   | 7           | 3    |
| 9  | ООО "Белвиджи"                    | ウェブサイト開発、ソフト開発、モバイルアプリ開発    | 172         | 89   | 139         | 16   |
| 10 | ООО "Сатурн"                      | コンサルティングおよびコンピュータ技術活動       | 168         | 110  | 0           | 0    |
| 11 | ЗАО "Тамга"                       | ソフト開発                       | 156         | 271  | -10         | 1    |
| 12 | ООО "Айти плей"                   | ソフト開発                       | 151         | 101  | 51          | 5    |
| 13 | ООО "Рус визардс"                 | ソフト開発、モバイルアプリ開発             | 150         | 69   | 17          | 0    |
| 14 | ООО "Дип диджитал"                | コンピュータおよび情報技術活動、その他         | 146         | 80   | 62          | 48   |
| 15 | ООО "Оверком"                     | ソフト開発、モバイルアプリ開発             | 141         | 14   | -17         | -14  |
| 16 | ООО "ДДОС-гвард"                  | 情報セキュリティ                    | 140         | 87   | 11          | -3   |
| 17 | ООО "Облачные технологии"         | ソフト開発、コンサルティング、その他関連サービス    | 138         | 44   | 25          | 0    |
| 18 | ООО "Эксперт-система Юг"          | ソフト開発                       | 134         | 113  | -2          | 4    |
| 19 | ООО ИСН 7                         | コンサルティングおよびコンピュータ技術活動       | 125         | 80   | 55          | 20   |
| 20 | ООО "Гэндалф"                     | ソフト開発                       | 117         | 103  | 15          | 2    |
| 21 | ООО "ЮСК:сервис"                  | ソフト開発                       | 115         | 64   | 22          | 18   |
| 22 | ООО "Менталстек"                  | ソフト開発                       | 114         | 95   | 25          | 7    |
| 23 | ООО "Интеллектика"                | コンピュータおよび情報技術活動、その他         | 110         | 135  | 1           | 0    |
| 24 | ООО "Тензор-транс"                | ソフト開発                       | 109         | 80   | 43          | 7    |
| 25 | ООО "НПЦ "Космос-2""              | ソフト開発                       | 102         | 95   | 4           | 11   |
| 26 | ООО "Дунайс"                      | ウェブサイト、アプリ開発                | 101         | 34   | 44          | 9    |
| 27 | ООО "Сивижинлаб"                  | ソフト開発                       | 100         | 100  | 13          | 8    |
| 28 | ООО "Иностудио солюшинс"          | ソフト開発、モバイルアプリ開発             | 94          | 79   | 15          | 3    |
| 29 | ООО "Студия Олега Чулакова"       | コンピュータ・情報技術活動、その他           | 94          | 82   | 12          | 18   |
| 30 | ООО "Система учёта"               | コンピュータ・情報技術活動、その他           | 88          | 95   | 0           | 14   |
| 31 | ООО "Р-софт"                      | ソフト開発、モバイルアプリ開発             | 85          | 62   | 70          | 51   |
| 32 | ООО "Хип гейм"                    | モバイルゲーム開発                   | 81          | 106  | 10          | 31   |
| 33 | ООО НПП ЛТТ                       | ソフト開発                       | 79          | 74   | 21          | 17   |
| 34 | ООО ИТА                           | ソフト開発                       | 74          | 41   | -14         | 0    |
| 35 | ООО "Передовые решения"           | ソフト開発                       | 66          | 29   | 4           | 2    |
| 36 | АО "РМЦ информации и технологий"  | コンサルティングおよびコンピュータ技術活動       | 63          | 80   | 1           | 1    |
| 37 | ООО АТД                           | ソフト開発                       | 62          | 0    | 0           | 0    |
| 38 | ООО "РНД софт"                    | ソフト開発                       | 60          | 45   | 41          | 18   |
| 39 | ООО "Интерна"                     | ソフト開発                       | 60          | 49   | 0           | 0    |
| 40 | ООО "Бит"                         | 情報セキュリティ                    | 57          | 25   | 10          | 1    |
| 41 | ООО "Центр автоматизации "Лемма"" | ソフト開発、コンサルティング、その他関連サービス    | 57          | 75   | -3          | 5    |
| 42 | ООО "Лаборатория ММИС"            | ソフト開発                       | 56          | 54   | 50          | 46   |
| 43 | ООО "ИК "Медотрейд""              | ソフト開発                       | 56          | 41   | 12          | -10  |

## 参考資料

---

- ヒアリングメモ：在日ロシア通商代表部
- ヒアリングメモ：関連日本団体

## ヒアリングメモ：在日ロシア通商代表部

| 質問項目   | 結果・地域ごとの推奨度  |
|--|--|
| 1. 山梨県の紹介、山梨県とロシアの地域との連携に対する期待                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 文化的、経済的の両面での交流。</li> <li>• 知事同士の交流関係。</li> </ul>  |
| 2. 日露地域連携に関する現状、事例（活動、成果・評価）                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ニジニ・ノヴゴロドと静岡県との協定が締結段階にある。外務省も協定を承認している。下田に来航した提督プチャーチンがノヴゴロド出身であり文化的つながりがある。他方、両地域には経済規模に差があり、話題の乏しいといった問題意識がある。</li> </ul>  |
| 3. ロシアと諸外国との地域連携の状況・状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• -</li> </ul>  |
| 4. 候補4地域に対する見方<br>5. 候補4地域と山梨県との連携に関する見方・考え方、連携が期待可能な分野・テーマとその理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• タタールスタンと石川県の間には関係があるはず。但し正式文書はない（中間報告より：2018年、金沢大学（石川県）とカザン連邦大と連携協定を結んでいる縁でタタールスタン大統領が石川県を訪問し更なる人的交流を要請。他に新潟大、筑波大との交流中）。</li> <li>• ヴォロネジは投資開発プロジェクトで日本の道路信号導入の実績があり、それをフォローをしたいところ。しかしヴォロネジ側は日本との協力を積極的とは感じられない。その意味で、実績はあるものの、政治的判断が不足している。</li> <li>• ロストフはイゾートフ東京総領事が熱心に沖縄との交流を検討してたが、その後、進んでいない。そのため、どのくらい日本との連携に関心があるかは不明。</li> </ul> |
| 6. 候補4地域と山梨県との連携への期待効果・成果  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 相互の連携協力関係。</li> </ul>   |
| 7. 地域連携における留意点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 知事を含む幹部が交流に対し積極的かどうかは鍵。知事同士の交流がすべてを左右する。</li> <li>• 日本企業のプレゼンスが高い地域は連携に関心があると考えられる。プーチン大統領の関心も日本との連携において、日本企業との関係があることを重視していることが知られている。サマラ、ウリヤノフスク、カルーガ、ニジニ・ノヴゴロド、レニングラードなど。</li> <li>• 文化的なつながりがあること、そして経済交流の見通し、面白いテーマがあることが大事である。経済交流は現在は規模が小さくても、ポテンシャルがあることが大事（スベトロニクス、ノヴォシビルスク、チュメニ、エカテリンブルグなど）。</li> </ul>                           |

## ヒアリングメモ：JBC #1/2

| 質問項目   | 結果・地域ごとの推奨度   |
|--|---|
| 1. 山梨県の紹介、山梨県とロシアの地域との連携に対する期待                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Made In Russia政策で輸入が難しいという議論がある一方、ロシアにない生産財の輸入は歓迎であり、共同で製品・技術開発が出来る協力関係は好ましい(下記、北九州の例)。</li> <li>• ロシア欧州側地域との連携は良い考え。極東地域は牽引力が弱い。日本企業を招致出来ればよい。23年3月に予定しているイベントへの参画も検討可能。現在企画中で60社の賛同で実施。</li> </ul>   |
| 2. 日露地域連携に関する現状、事例（活動、成果・評価）                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 北九州(八幡製鉄)とウラル(チェリビンスク州等)で鉄をテーマに連携を検討。北九州の約15社がROTOBOメンバーで参画。企業が動いて(経済先行)、市役所が動いた珍しいケース。</li> </ul>   |
| 3. ロシアと諸外国との地域連携の状況・状況                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ロシアと欧州との地域連携状況に関して詳しくない。欧州とオンライン会議をしていると、日本よりはるかにロシアと欧州の交流歩幅は大きい。知らないところで地域間交流が活発に行われていると思われる。(例、フィンランドからサンクトペテルブルクへの進出など)</li> </ul>  |
| 4. 候補4地域に対する見方                                 | <p>(「5.」、参照)</p>  |
| 5. 候補4地域と山梨県との連携に関する見方・考え方、連携が期待可能な分野・テーマとその理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ヴォロネジは農業の切り口で有望。ヴォロネジのモスクワ代表部は活発で、日本との協力でもやり取りしやすい。</li> <li>• タタルstanは連邦構成主体でも最も優秀な地域の一つ。投資環境ランキングでも特に高く、産業の幅は広く、技術系も対応可能でポテンシャル高い。逆に多くのところからのラブコールが多い。タタルstan日本文化情報センター「さくら」所長サディコヴァさん(天皇陛下より勲章)は、バイタリティがあり日本への思い入れが強い。ROTOBOでもタタルstanの企業の生産性向上に関する協力について、大統領のレターを取り付けた。同センターは、島根県への国際交流員派遣や、たたら製鉄とタタルとの関係研究などが行った。タタルstanでの成功例多い。ITも特区を作り積極的に取り組んでいる。山梨県とのバランスが懸念材料(相互協力分野：機械分野、IT分野)。</li> </ul> |

## ヒアリングメモ：JBC #2/2

| 質問項目  | 結果・地域ごとの推奨度  |
|---|--|
| 5. 候補4地域と山梨県との連携に関する見方・考え方、連携が期待可能な分野・テーマとその理由（つづき） | <ul style="list-style-type: none"> <li>ロストフ州は、ロシア南部で、ワインの関連でも悪くない。JTが工場を持っている（建設中？）。ロストフはGloria Jeans（Made in Russiaの代表的ブランド、Melnikov氏（創業者））が日本のJUKIの山岡氏を尊敬しており、社長時代にMelnikov氏を信じてミシンを出した。一時期、JUKIにとって世界最大の海外顧客だった。ロストフは炭鉱地帯だった。炭鉱夫の街があったが、同時に多くの縫製工場があった。交流する先として温暖で、ドン川があり、感じが良い場所。農業も発達している。割とあっているイメージ。ワイン、農産物、観光での連携が期待できる。</li> </ul>  |
| 6. 候補4地域と山梨県との連携への期待効果・成果                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>相互の連携協力関係。</li> </ul>   |
| 7. 地域連携における留意点                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>経済が伴わないと失速する。</li> <li>キーパーソンがいるかどうかキ。北九州でも両国でキーパーソンがあり、イベント単発だったが、キーパーソンの存在によって継続し、合併企業も出来た。</li> <li>中小企業でも中堅企業以上でないと連携が難しい（連携活動に残っていけない）。国際経験ある企業でないと連携継続できない。法務・財務で専門部門を持っている規模が必要。または地元で商社在り、商社が現地の中小企業をまとめた。そうした企業にキーパーソンが存在する事。北九州では安川電機関連の企業がイニシアチブをとった。</li> <li>ロシアは難しいことが多い（ペーパーワーク、膨大なアドミ業務）→中小企業には厳しい。</li> <li>日本側に連携体制がしっかりしていることが必要。</li> </ul> |

## ヒアリングメモ：日本センター（モスクワ） #1/2

| 質問項目   | 結果・地域ごとの推奨度  |
|--|--|
| 1. 山梨県の紹介、山梨県とロシアの地域との連携に対する期待                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>物が売れるのはモスクワ周辺。モスクワ州は可能性がある（人口、購買力）。ウラジミール州もよい。</li> </ul>   |
| 2. 日露地域連携に関する現状、事例（活動、成果・評価）                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア・ヨーロッパ地域と日本との交流では、宮城県がニジニと10年以上交流。前知事の時代に交流関係が締結。毎年宮城県から交流があった。最近では仙台大学などから来ている。人的交流は続いているが、経済交流が当初の目論見通りに成果にならない。宮城はニジニのIT技術に注目している。インテルのロシア法人研究所がニジニある。まだ具体的なテーマに当たっていないが、検討が進んでいる。</li> <li>3年前山口県・市とクラスノダール州の連携。官邸からのプッシュ。市では山口市とソチ市。</li> <li>栃木県とカルーガ州の交流が行われつつある（自動車関連）。</li> </ul> |
| 3. ロシアと諸外国との地域連携の状況・状況                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>2014年以降は欧州との交流がなくなっている。ソ連時代の友好関係を継承しているのが多い。中国との関係は分からない。ロシアになってから友好関係を結んだ例は少ないと思われる。</li> </ul>  |
| 4. 候補4地域に対する見方                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>優先順位的には、ヴォロネジとタートルスタン。</li> </ul>   |
| 5. 候補4地域と山梨県との連携に関する見方・考え方、連携が期待可能な分野・テーマとその理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県として最も近いのはヴォロネジ。土地が豊かで農業の中心的地域であり、この農業の関係で協力可能性がある。日露協力のプログラムがあるが、足踏みしている。工業、軍需産業、通信機器関連企業が昔からある。産業分野で協力できる分野を探す必要がある。古河電工の子会社（元米国企業）で光ファイバーを生産している。親日的地域なので、様々なニーズが出てくる可能性がある。逆により注意が必要。</li> </ul>  |

## ヒアリングメモ：日本センター（モスクワ） #2/2

| 質問項目  | 結果・地域ごとの推奨度   |
|---|---|
| 5. 候補4地域と山梨県との連携に関する見方・考え方、連携が期待可能な分野・テーマとその理由（つづき） | <ul style="list-style-type: none"> <li>• タタールstanは独自に日本に進出しており、戦前から日本と強い結びつきがある。タタールからロシア革命で逃げてきた人が、シベリア鉄道の建設のため満州・ハルピン（ロシア人が作った街）に2万人ほど来ていた。ニコライ2世が来日した時、ウラジオでシベリア鉄道建設スタート（鋤入れ）のために来日。建設労働者に、日用雑貨などを入れていたのがタタール人。戦前にタタール人が来日し東京（新大久保）、神戸にコミュニティを作った。富ヶ谷に東京モスクの先代モスクをタタール人が作り、多くのタタール人がいた。日本とタタールの結びつきは高い。島根との関係。豊かな地域。</li> <li>• ロストフはロシア南部の中心地。ワインの面では、クラスノダールでヨーロッパの投資家による欧州技術によるワインなので、山梨との関係づくりが見えない。ロストフは気候が暑い。ぶどう果実などの栽培が可能かもしれない。ドクトルジバゴの舞台の土地。</li> </ul> |
| 6. 候補4地域と山梨県との連携への期待効果・成果                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>• （「5.」参照）</li> </ul>  |
| 7. 地域連携における留意点                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域間交流は毎年決まったことを粘り強くやってゆくことが大事。世代につないでゆくことで成果が出る。そのためには相互に熱心になれる人材が必要。露日協会（ロシア）があり、各地域に露日協会の支部がある。露日協会の人を核に、キーパーソンをしっかりと置くことが大事。各都市も欧州との連携関係があるので、山梨の影が薄くならないように。</li> </ul>  |



## ヒアリングメモ：ROTOBO（モスクワ） #1/2

| 質問項目                                 | 結果・地域ごとの推奨度  |
|--------------------------------------|--|
| 1. 山梨県の紹介、山梨県とロシアの地域との連携に対する期待       | <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨は自然、ぶどう＝農業関連での連携、似通った産業を持った地域が良い。</li> <li>人口・産業規模が近い地域。</li> <li>他の候補：トゥーラ州も良い。モスクワ近くで農業さかん。但し、軍需産業地域。トヴェルは日立建機工場があり、ロシアとして工業エリアとして発展させたいとしている。</li> </ul>   |
| 2. 日露地域連携に関する現状、事例（活動、成果・評価）         | <ul style="list-style-type: none"> <li>極東との関係が多く、極東と日本海沿い地域の連携は歴史が長い。一方、具体的な活動という点で、ばらつきがある。日露双方の知事が変われば関係がガラッと変わる。その時々によって活動状況が変わることには疑問がある。</li> <li>ナホトカ市と小樽・舞鶴・敦賀市と姉妹都市関係で、特に舞鶴市との連携関係は非常に活発で継続的に連携活動している。歴史的な関係もある（シベリア抑留の歴史）。沿海地方は多くの地域と連携しているが、橋本知事になってから大阪との活動は皆無。</li> <li>カルーガ州と栃木県は連携を進めようとしている。自動車関連。相互に知事が行き来している。</li> </ul> |
| 3. ロシアと諸外国との地域連携の状況・状況               | <ul style="list-style-type: none"> <li>極東での姉妹都市活動を見ると、日本は一生懸命やっているように見える。他方、韓国はそのような活動はあまり活発ではない。一方、中国は経済を前面に出してくる。地域的にも近いので、活動的で規模が大きい。</li> </ul>  |
| 4. 候補 4 地域に対する見方（Positive, Negative） | <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスノダールは人口規模が500万人と大きいイメージ。</li> <li>ロストフはクラスノダール程大きくはないが、ワイン産業もあり産業も発展、農業が豊か。</li> <li>タートルスタンは連邦主体の中でもとびぬけた地域で、経済規模大きい。また親日的で、日本企業も進出しており、友好関係を大事にする。他に連携地域がなければ応じてくれるだろう。</li> </ul>   |

## ヒアリングメモ：ROTOBO（モスクワ） #2/2

| 質問項目   | 結果・地域ごとの推奨度   |
|--|---|
| 5. 候補4地域と山梨県との連携に関する見方・考え方、連携が期待可能な分野・テーマとその理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光はロシアでも力を入れているので良いテーマ。農業はどここの連邦構成主体でも重視しているため、農業も良いテーマである。</li> <li>• ITはイノベーション。ITの分野では若い世代の連携が期待できる。行政府がきっかけを作り、その後、若い世代、スタートアップ企業同士での連携が形成されるのが好ましいと期待。スピード感を持つことが大事。ITパーク同士の連携、IT人材の交流などができればよい。</li> <li>• ロストフはクラスノダール程大きくはないが、ワイン産業もあり産業も発展、農業が豊か。</li> <li>• ヴォロネジも農業の面で可能性が大きい。山梨は畜産豊かというイメージ。その意味でもヴォロネジか。</li> <li>• タートルスタンのKamaz社に自動運転技術開発が任されているなど、産業・技術力がロシアの中でも認められている。この点で山梨県とのギャップがあるかもしれない。</li> </ul> |
| 6. 候補4地域と山梨県との連携への期待効果・成果                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 相互の連携協力関係。</li> </ul>  |
| 7. 地域連携における留意点                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 経済的成果を求める傾向が日本は強くなっている。これを強め過ぎてしまうと、短絡的な成果志向で、官主導になってしまい、結果的に良いことにならない。文化、スポーツ及び相互理解に基づく連携基盤の上に、民間レベルでのビジネスマッチングを生み出してゆくことが大事。</li> <li>• 経済的な面は、マーケティング的アプローチで検討すべきである。逆に地域連携に縛られる可能性がある。</li> </ul>  |